大正九年十二月二十日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一個月 金八十錢 郵稅 一個月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話二二五〇番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

國都の土建界 未曾有の活況
供給價格協定も無駄

愈々本格的な土木建築期に入り國都建設事業への積極的動きに今や材料配備運搬の荷馬車が到るところ押すな押すなの有樣を見せ石材、煉瓦、砂等は既に各所に堆積されてゐるが、右諸材料は今や引ッ張凧の觀を呈し、就中砂は前代未聞の高價を唱へ居るので國都建設局では之が調節を計るため新京砂供給組合及川砂採掘並に販賣を指定許可し、その供給價格一坪につき國幣八圓四十錢餘を標準とすることに契約したが、ところで目下市價は一坪につき金票十二圓位であり、しかも運搬中の荷馬車は途中でふんだくられるといふやうな始末で右協定など到底實行され得る見込みはない狀態である、以て新京土建界が如何に想像外の活況を呈してゐるかが窺はれる

熱河票の回收好調
中銀竹本課長談

中央銀行では熱河經濟工作のため幹部一同不眠不休で活動して居るが同行竹本發行課長は三日國幣の流通目的の爲め單身飛行機に國幣を滿載して奉天より急遽朝陽に到着、赤峰凌源の警備所との聯絡を付けて承德に飛行國幣現送の任務を完了して一昨夜承德から五時間で直行歸任した、重任を果して竹本課長は語る

熱河省の回收と國幣の流通は好調子に行はれつつある然し熱河省は民度極めて低く交通も不便だから今後の經濟工作に對しては巧妙な指導政策をさらねばならぬ例へば學によるよりは目で見せてやる等余程親切細心に教へてやらねばならぬ點が多い尚今後の國幣の輸送も飛行機による外はないと思ふ

同種案內所簇生を抑制
經濟事情案內事業統一の爲め

建設第二期に入つた滿洲國は愈々解氷期に入つて視察、見學、旅行團續々入滿、又各種企業者等滿洲各般の經濟事情を調査せんとするもの殺到の折柄、曩に滿洲文化協會が新京に開設した滿洲經濟事情案內所は今や其の全機能を發揮して諸事情の調査並に紹介に努力し著しき效果を擧げてゐるが、此種機關の新設計畫が別の方面でも進められてゐた模樣あり、此種機關が簇出せば統制上から見て面白からず且つ滿洲經濟事情の調査、紹介にも統一を缺く虞れがあるとの見地から某有力筋は此種機關の簇出傾向に對し注意を發した模樣である

京鐵管內の院內在貨

特產の出廻りは三月を以て大體一段落、奧地には殆ど滯貨なく農民は今や春耕に取掛つてゐる、大豆は大連極安で引合はず荷動き極めて不活潑、當分取引閑散である、而して三月末現在京鐵管內に於ける院內在貨は左の如し

驛	在貨
鐵嶺	一五、〇九四瓩
開原	七三、九六四
昌圖	二、六一〇
双廟子	五、二三五
四平街	六一、九四三
郭家店	六、九二〇
公主嶺	六二、七四八
范家屯	一七、二九六
新京	六九、五七五
計	三一五、三八四

右內譯

品目	在貨
大豆	一二四、一〇四瓩
高粱	一〇五、二九七
玉蜀黍	一一、八三二
粟	二八、〇五五
雜穀	二七、一三六
豆粕	一、六六四
豆油	五五一
木材	三〇八
其他	一六、四三七

失業救濟策に大建艦計畫

〔ワシントン發國通〕米國下院海軍委員會委員長ヴィンソン氏は四日ルーズエルト大統領と會見し、海軍建艦計畫に關し會談してゐ、新聞記者團に對し失業救濟法案中に二億三千萬弗の海軍建艦計畫が包含さる可き事を發明した、同時の案は失業救濟のため三ケ年計畫を以て一萬噸巡洋艦四隻、驅逐艦廿隻、航空母艦二隻合計卅十隻を建造せんとするもので、第一年度は四千六百萬弗を支出する事になつて居る、右計畫は法案の議會通過後九十日以內に着手し得る見込である

滿鐵附屬地阿片制度實施案決定

〔東京五日發國通〕阿片委員會は拓務省より提案中の

一、滿鐵附屬地阿片制度施行に關する件
一、朝鮮に於ける阿片處分に關する件

右二案を討議協議の結果、前者には關東州に實施中の阿片制度をそのまま施行するに決し近く閣議の承認を經て正式手續を取るに決定後者については尚ほ研究の餘地あるため調査の上具体案を作成することとなつた

製鐵合同二法律案決定

〔東京五日發國通〕商工省では今議會に追加した製鐵合同案施行に關し準備中だが、取敢ず

一、日本製鐵株式會社法
一、私鐵業獎勵法中改正法

の二法律を、六日の官報で公布決定、實施は四月下旬の筈

外船輸入六隻許可
紛爭も解決

〔東京五日發國通〕外船輸入問題の最後的解決を圖る爲め堀切翰長は黑崎局長官を派し、大橋遞信事務次官、河田拓務事務次官等を午前九時首相官邸に招致して協議の結果、遞信省側讓歩し外船輸入六隻を承認する事に內定し、沿岸航路再許可を含めたる妥協案成立し、さしも久しかつた紛爭も茲に手打となつた

米國失業救濟保險法
近く議會に提出

〔ワシントン五日發國通〕米國の失業救濟保險に關する總費用は三億三千萬弗であるが近く議會に提出する筈

コール協定率一厘引下げ

〔東京五日發國通〕水曜會では五日コール日步協定率一厘引下げ八厘に決定、大阪も追隨兩市打合せの上實施期日を決することとなつた

國際勞働會と我國の方針

〔東京五日發國通〕六月八日ジュネーヴで開催される國際勞働會議には失業保險及救濟法に就ては時期尚早との態度で臨み、勞働時間短縮問題に就ては我國現在の勞働狀態から實施困難との理由で不贊成の方針で臨むに決定した

三月中の全國生產綿糸高

〔東京五日發國通〕紡織聯合會調査、三月中の全國綿糸生產高は合計二十四萬五千六百六十三梱、前月よりは三千七十三梱減少、減產理由は二三日操業日數の少なかつたに基いてゐる

熱河省事情〔六〕

阿片 熱河の農產物中看過出來ないものに阿片がある。而も熱河省が、今日反滿態度を示すに至つた微妙な政局の動きも、實は熱河に於ける阿片の魔力によるものとされてゐる。元來、熱河軍閥は事變前まで熱河產の阿片を奉天に搬出し、其處から各地に轉送してゐたものでその輸出稅により巨利を博してゐたのである。しかるに新たに建國した滿洲國は、人類に害毒を流す阿片の賣買を一切禁止した爲め從來の販路を失つた熱河軍閥は私腹を肥やす道を失つたのである。そこに、北平にゐる張學良が約一年前熱河の阿片の販路を北平・天津方面に開く樣取りなしてやつた關係上、滿洲國に好意を有する如く見えてゐた熱河軍閥も遂に張軍閥と去就を共にするに至つたと見られてゐる。

過ぐる民國十八年三月、國民政府は禁煙令を實施したのである。然るに熱河省政府は却て人民に對して阿片栽培を獎勵した。爾來國民政府は屢々栽培禁止の嚴命を下したがであるが、熱河省政府は敢て其栽培を獎勵しつつあつた。それは左記の四項に基因するものと言はれてゐる。

一、數年來地方凶作の爲め阿片栽培を許可しなければ人民の困窮を救濟する事が出來ない

二、政府の命に遵ひ栽培を禁止すれば熱河省政府の總收入は一時に半減すべく、今さへ收入不足に苦しみつつある省當局にしては到底堪へ得るところでない。

三、阿片禁止による財源缺乏の穴埋めとして土地整理を行ひ、地租增收を圖らんとしたが由來支那に於ては土地の整理は大きな社會問題であつて人民の大反對なしに行はれ得るものではない況んや當地方は最近五年間に互り凶作が續き日々の食料さへ困窮してゐる際、土地整理の行はれ得る道理はなく百姓は所在に蜂起して整理に反對をし地方に依つては遂に大暴動化し、事態は險惡となつたので、省政府も整理實施を延期するの已むなきに至つた。從つて阿片に代るべき財源の無いこと

四、省政府首腦者は只管財源に汲々として、阿片收入の如き其の大部分は自己の私腹を肥すに過ぎない。更に阿片を大口に買收し、東北諸省並に京津方面に賣捌く利益も亦巨額に達することも到底彼等が此のなほ妙味ある事業を只中央政府の命令に依つて禁止する程從順ではない

八年度より移民教育實施

〔東京五日發國通〕文部省では國情に鑑み移殖民教育の必要に關し六年度より實施に關し盛岡、三重、宮崎の三高等農林に拓殖訓練場を設置し、十八歲乃至三十歲で實業學校卒業程度の者を入場させ、殖民貿易、外國語等を習得させることとなつた

日銀週報

〔東京五日發〕日銀週報

項目	金額
發行兌換券	一、一三三、〇五四
正貨準備	四三五、〇六八
保證內譯	
公債	三四六、三一〇
政府證券	二、一〇〇
證券	四〇〇
手形	三六、二九四

怪人凱歌（百八十六）

（舞臺上演・映畫化） 須藤鐘一（作） 瀧秋方（畫）

跳躍（十）

『信雄も千鶴子も、家を出てからいろいろの苦勞をしましたよ。信雄の如きは、不良少年の仲間に入つて、或る時は既に一命も危い目にさへあひました。千鶴子もやはり不良少年に誘拐されて、淫蕩な人たちの娛樂の恐ろしい犧牲とならうとした事があるんです。可哀さうに二人は千金の家に生れながら、親の愛の足りないばかりに、みんな斯うした憂き目を見てゐるんですぞ!』

まだ見ぬ人の聲は悲痛である。

『まア、ちつとも存じませんもんですから……』と、鶴子は面目なげに呟く。

『存じないと仰しやるが、あなたは知らうとしないから分らないのです。我が子を思ふの心が闇ければ、今日まで其のままにしてはおかれぬ筈、今日まで放任してあるのが、つまり愛の足りない證據です!』

まだ見ぬ人の言葉は益々嚴しくなつて行く。

『仰せのとほりでございます。惡うございました。わたしが惡かつたのでございます。それにしても、あの子供たちは何處にどうしてゐるのでございませう。あなた、御存じでしたら、どうぞお教へ下さいませんでせうか』

『二人は、今、案外の方で、細々ながら獨立して生活してゐます。その健氣な心がけには僕もほとほと感心してゐる。然し、いつまでも此のままにしておく譯には行かぬでせう。それでは第一、子供たちの死んだ實父に對しても濟まないぢやありませんか』

『さうです。さうです。どうか居所をお知らせ下さいまし、明日にでもすぐ迎へに取りますから……』

『あなたが、心の底からさういふ氣持になつたのなら、二人の子たちの實父は勿論、亡き伯爵もさぞ草葉のかげでよろこばれることでせう――しかし鶴子さん、それくらゐのことであなたの罪が償へるものと思つてはいけませんよ。あなた方の犯した罪は、時がたつても消えはしない。いや、消えないばかりか、其の後月日と共にだんだん其の罪は芽をのばし、枝をひろげて、今日では見る目もおぞましい姿に成長してしまつたのだ!』

『まア恐ろしい。どうぞわたしをいぢめないで下さい!』

『鶴子さん、あなたをいぢめるものは、此の僕ではない。あなたの昔犯した罪である。つまり自分を自分がいぢめてゐるのです。あなたは之れまで誰も知るまいと思つて枕を高くしてゐられたであらうが、惡い事をしたら、遲かれ早かれそれが分らぬといふ事はないものです。――最近、私立探偵の鬪野が、伯爵の遺子の事について搜査した結果、久しく世に埋もれてゐた鶴子さんと夏木恒夫君、天野誠也などとの秘密もすつかり判明したのです』

『まア、わたしどうしませう』

『今更どうしやうもないのです。泣いてもわめいても、もう追つつきません。つまり、あなたがむかし蒔いた種子に花が咲き實を結んだのです。その罪の實を刈るものはやはりあなたより外にはない譯です』

まだ見ぬ人は、冷やかな口調で嚴然に宣告するやうに云つた。

『それでは、わたしはどうしたらいいでせうか。どうぞ教へて下さいまし』

と、鶴子は身もだえしながら口走つた。極度のおびえと驚きとに彼女はいつしか逆上したらしく、突然布團をパッとはねのけて、のさばり出た。

髮は亂れ、眼は血走つて、夜叉のやうな恐ろしい形相。

ぐいと半身おこして、きつとあたりを見まはした。すると枕頭には黑つぽい洋服を着て黑布で覆面した一人の男が、小机の上に腰かけて、ぢつと此方を見詰めてゐるではないか。

鶴子は然し、もう恐れてばかりはゐなかつた。覆面の男と相對して睨みなほした。

蔣介石狙撃さる
廣東、南京兩派關係 急角度に紛糾せん

（奉天五日發國通）當地の信ず可き筋に達した確報によれば、北上を聲明し本日に至るも實行に移るを得ず、依然南京に在る蔣介石は去る一日自邸に於て、廣東派に買收されし一衛兵の爲め狙撃されしものと確聞するが、右の結果蔣介石對廣東派の關係は急角度の紛糾を見るものと豫期される

平津地方まで一氣に衝くべし
山海關方面の空氣

（山海關五日發國通）日本軍に飛行機がなければ斷じて敗戰する様な事はないと豪語してゐる支那軍は、退却すべくして容易に退却せず、相變らず陣地を構築してゐるが、秦皇島前面の東北方に第一線を、北戴河に沿ふて第二線を、北戴河の後方に第三線の陣地を構築してゐる、右につき當地の内外人間には、若し日本軍が進出すれば一溜りもなく敗走するので支那軍に對しては作戰も戰術も其の要なく、暴虐なる支那軍を徹底的に膺懲すべし、この際天津北平まで一氣に進出する事が必要だと異口同音に唱道されてゐる

軍費捻出に窮し
團匪賠償金支拂延期 各國公使に提議せん

（天津五日發國通）財政部長宋子文は軍費捻出に汲々の餘り各國公使に團匪賠償金支拂延期を交渉するであらうとの報傳はり之がため教育界は大恐慌を來しつつある、右に關し精華大學校々長梅祺珍氏は語る

本校經費は米國の團匪賠償金により經營してゐるが

＝昨年＝ も支拂延期のため經營に困難を極め、僅かに建築資金の未拂金を流用してやりくりし、支出の多くは本年度に廻してゐる有様であるのに本年又復政府が米國に向ひかゝる支拂延期交渉をなすに至れば、ただに學校が停止の已むなきに至るばかりか、お賠款を基金とし派遣されてゐる在米留學生は餓死するに至るであらう、同時に該賠款關係の文化施設は一齊に停止さるゝであらう、本校毎月の經費は月初めに送金されてゐるのを前月は送金なきため銀行から臨時借款をして繰合せしてゐるやうな次第で俸給その他は未拂のまゝで學校の負債は二百三十萬元に達してゐる、しかるにまた政府が一ケ年間の支拂延期を敢行するが如きことあれば、この始末をどうするか、勿論南京教育部長には反對の公電を發したが自分も近く南京に赴き王委員長、朱教育部長、宋財政部長等を歷訪して反對意見を開陳する若し

＝米國＝ のみならず英國伊太利等に於ても支拂延期を承諾するが如きことあれば、問題は精華一校の問題ではなく中華文化基金會に屬する北平圖書館始め幾多全國の文化施設は凡て破産狀態を招來する由々敷事件である

八方塞りの蔣介石
北上實現危まる

（南京五日發國通）北上を決意未だ南京の自邸に出發を延引して居る蔣介石は、表面四月一日を期し北上すべしと言明しながら、廣東派との關係が非常にデリケートになり、傍々共産黨の跳梁もあり、一面日本軍に對抗のため何應欽に命じて第百廿九師を更に長城線に增援する等の事あり、之等の事情よりして蔣の北上も、實現されるに至らず、今や完全に八方塞りの形となつた、蔣の意圖が實現されるや否や非常に疑問視されて居る

營口英人拉致事件は
南京政府の策動
─某外人の談─

（北平五日發國通）過日英國の船員拉致事件に就て當地の某外人の談によると右事件は昨年英國婦人拉致事件と同じく、支那側の策動にして日本及び滿洲國側にその責を歸せんとするもので、南京政府から山東附近の海賊を操り故意にこの行爲をなさしめたものと思はる

遼河地區の第二回の匪賊討伐
王殿忠軍の奮鬪に匪賊全滅

（奉天五日發國通）三月末以來遼河地域の第二回匪賊討伐は、王殿忠將軍指揮の下に行はれたが、此の地點は嘗つて匪賊討伐が行はれた事無き地點で、山あり河あり、實に討伐に困難を極めて居るが、同地域に蟠居する匪首は和平、東洋、平東の率ゆる五百の匪賊は大窪の西北十五キロの地點で王殿忠軍と遭遇激戰の結果匪團は全滅的打擊を受け、匪首和平、平東は重傷を負ひヤバフ部落に潛入、東洋は卅名の部下と共に七水井潛に伏し、事判明したので目下極力搜査中である

先般營口河口に入て英人を拉致したる海賊は右東洋に非ずやと觀られて居り、王殿忠軍は盤山營口兩縣警務署員と協力し、東洋の潛伏を突止めんと大活動を開始した

宋哲元軍補充

（山海關特信）喜峰口正面に於て皇軍の爲め徹底的に粉砕された宋哲元軍は其後損害補修の爲め種々苦心してゐるが兵は新に察哈爾にて募集し張家口に於て訓練する計畫を爲してゐる、而して幹部（將校）は現在軍にゐるものを融通して補塡すると、猶ほ宋哲元が兵を察哈爾にて募集し張家口に於て訓練の計畫をなしゐることは豫ねて宋哲元馮玉祥間に一脈相通ずるものがあると傳へられてゐることを實證するもので時節柄注目に値する

丁強軍海陽鎭に迫る

（山海關五日發國通）龍口を奪取せる丁強軍は、一路海陽鎭に迫りつつあるが、支那軍は相當頑强に抵抗し午後三時前後若干の爆擊を加へたが目下對峙中

南京對廣東派間 空氣險惡、

（上海特電）頻りに北上を傳へられてゐた蔣介石は四日午後軍艦楚有に搭乘し遡江して五日正午九江着直に南昌に急行した、これは中央軍の北上前には一時妥協の氣勢を見せてゐた共産軍は愈よ中央軍が北上するや急に其態度を一變し剿匪軍に向つて攻擊を開始し隊師長は遂に戰死するなど多大の損害を與へた爲め蔣介石は急遽南昌に赴くこととなつたもので、何應欽も亦急遽南昌に招致されることとなつたと傳へらるゝか、共産軍と廣東側とは往來一脈通ずるものあるに徵すれば南京政府對廣東政府との間に最近重大事件が逐次醸成されてゐるものと見らる

目に余る支那軍の横暴非道ぶり

（山海關特電）冷口北方山神廟に在る支那軍は附近部落を徹底的に掠奪し女子供を除く外一切の

＝男子＝ を強制的に徵發し陣地構築、彈藥運搬に使役し廢墟に等しい部落に配殘された女子供は喰ふに糧無く寢るに家なく實に悲慘な生活を續けてゐる中には左のやうな悲話もある支那軍の在る山神廟と川一つを隔てゝ我軍が守備してゐる龐家營子王といふ一家は主人は支那軍の爲めさきに徵發されて十四歲を頭に四人の兄弟と母親とが取り殘されて暮してゐるが、王は川向子の支那軍陣地から川を越へて我軍の守備する龐家營子に水汲みに出て來て居たが四人の兄弟は或る日父が水汲みに出て來るのを目擊し父戀しさの餘り我軍の第一線を通過して支那軍の陣地の方へ行つたところ支那兵はこの可憐な四人の子供に對して一齊射擊を浴せ三人を倒し長男だけは

＝負傷＝ して逃げ歸つたことこの暴虐なる支那兵の仕打ちに母親は狂亂せんばかりに悲嘆にくれ、皇軍に援助を求めて來たので負傷の長男は直ちに我軍の衛生班で救護したが今更ながら支那軍の暴虐さには憤激してゐる

支那軍同士打ち
軍狀混沌を極む

（山海關五日發國通）今朝來の常興店附近の銃聲は支那軍第百十六師の一部と第百九師の兩部隊の同士打を演じたものと判明した原因は第百十六師の一部が滿洲國側に歸順せんとして第百九師の兵に發見され衝突を惹起せるもので同方面の軍情は混沌として居る

秦皇島以西の支那軍配備

（山海關五日發國通）秦皇島以西の支那軍の配備狀態は左の如くである

撫陽鎭　第百十五師
洮東潘　第百十七師
呂承琳秦皇島　二ケ團
石門寨西南四キロの黒山窩に三ケ團

其他增援の假勇軍を合算すれば七八萬の多きに上つてゐる

南京軍慘敗
共匪軍の猛襲に

（南京五日發國通）江西一軍教官よりの急電によれば金竹より樂安に向つて進攻し來れる共匪軍は討伐に向つた中央軍第五十二、五十九兩師と廿五六の二日間に亘り晝夜激戰の結果第九十九師長陳時驥は捕虜となり第五十二師長李明は重傷して戰死、其他旅・團長等十二名重傷を負ひ慘憺たる敗北を招き匪軍は廿七日樂安を占領し勢に乘じて撫州南昌に向つて猛進中にて形勢危急なり

と、蔣介石は右急報を得て軍艦に乘つて江西に向つた

駐支米公使の事實無根の抗議
教會を占據は怪しからぬ

北平駐支亞米利加公使館から我が北平駐支公使館に對し皇軍の熱河討伐に際し木頭橙、双山子に在る亞米利加人の教會を皇軍が占據したとて抗議した來たので、我公使館では早速軍部に移牒して眞相を取調べた處、右は去る三月九日木頭橙同十三日双山子に於て皇軍は何れも管理人及び代理布教師の承諾を得て宿營し、當時管理人の證明書が取つてあるが、之れを無斷占據等として抗議したものらしく全然事實無根である寧ろ熱河討征以來熱河方面に於る外國宣教師は皇軍の討伐に依つて兵匪の暴虐を免れ得たるのみならず其後皇軍の軍規正しく秩序整然と治安の維持されつゝあるに外國の宣傳教師連何れも感謝感激してゐる際、亞米利公使のこの抗議は皇軍の眞の態度を知らぬ認識不足から來た甚しい錯覺だと云はれてゐる

重光公使に
宮中杖許可の御恩命

（東京五日發國通）隻脚の外交官として國民感謝の中に六日晴の參内をする重光葵氏に對して畏き邊りでは特に宮中に於ける杖使用許可の恩命があり、同公使は六日參内に際し杖を使用することとなつた尚は聖上陛下には日を改めて同公使に御陪食を仰付けられる由承はる

マツク英首相
ル大統領の招請で渡米
─當面の諸問題につき協議─

（ロンドン五日發國通）マツク英首相は愈々今回ルーズヴェルト大統領の招請をうけ復活祭休日を利用して再び渡米する事に決したものとやつである、戰債協定の改訂交渉はワシントンで英國大使リンゼイ氏と國務省當局との間に繼續されてゐるが、右交渉は容易に進捗しない狀態にあるに鑑み、ル大統領は親しくマツク首相と膝を交へて隔意なき意見の交換を遂げるものと見られてゐる、而して右兩巨頭の會議は單に戰債問題のみに限定されず世界經濟會議への地ならしとして關稅障壁の打破其他世界的不景氣打開の諸方面にも言及するものと期待されてゐるが、ル大統領の招請に關しては近く英國政府より發表され同時にマツク首相がお招請を受諾する旨公表されるものと見られてゐる

日滿は一層提携の度を深めねばならぬ
丁士源氏歸京に際し語る

滿洲國を代表してジユネーヴに使した丁士源氏は昨五日午後七時五十分の「ハト」で着京した、驛頭には日滿要人多數ホームを埋め、氏の久しきに亘る健鬪をねぎらふにふさはしい情景であつた

記者は公主嶺に丁氏を迎へ、新京迄展望車で談話を續け得たが、車中には奉天まで出迎へた宇佐美顧問や、川島芳子等の數人が行を共にしてゐた

東京には二十五日到着し二十七日朝の出發迄外務、陸海の三省を訪れ、種々意見の交換をなしたが氏は日本朝野の熱誠な歡迎に感激の面持を顔面に髣髴させ乍ら語つた

ジユネーヴには四週間滯在して極力歐米代表の認識是正に努力したが彼の松岡代表の飽くなき奮鬪にも拘はらず聯盟の結果は水泡だつたのが遺憾で歐米諸國は自國國內問題や外交問題に全神經を傾けてゐるから今は滿洲問題は馬耳東風だよ、日本の聯盟脱退は武士道の精華の一表現さ、此の際日滿は一層一心同體に提携の度を深めばならぬ

光輝ある孤立でも國際の平和的協調に努力を惜むものでない、此の意味から來年東京に開催される萬國赤十字社會議には日本は凡ゆる誠意と好意を披瀝してくれるだらう

記者は最後に二三の質問を試みた

日滿の諸紙は余の新駐日公使を報道して居るがそれは新聞辭令で余の關知するところでない、今回の歸朝はジユネーヴに使した經緯結果の報告で何等積極的な計畫は持合せない

六ケ月留守したから勝手がわからなくなつた滿洲國のその後の事、は寧ろ君から聞きたいよ、マア熱河の討伐迅速なるには世界と共に一驚したよ、久し振りに歸つて來ての素晴らしい印象といへば財政の完備が着々効を奏して來たことだ、治外法權撤廢は滿洲國ばかり急いでも駄目だ、對外關係の重要問題だから、然し滿洲國は國內法の完備へ努力してゐるから時が解決するよ

と語り、記者が更に日本で梅花を觀賞されましたかと問へば

否、未だ執政にも重責を報告しないし、途中で道草を喰ふやうな自分でもないよ第一君の知つてる通り滿洲國の國花は高粱だからなア

と答へた、尙氏は明日執政を訪れ詳細報告の筈である、驛頭ではひたすら記者團に歸來挨拶をしたが何れ外交當局と折衝の上正式ステートメントを發する筈であると述べ、直ちにヤマトホテルの客となつた

藏相の辭任問題と民政黨の政局觀

（東京五日發國通）民政黨では高橋藏相の辭任問題と政府將來の動向に關し幹部手分けして各方面より情報蒐集中だが、特に松田幹事長は五日午前九時內相を

＝訪問＝ 約一時間に亘り懇談を遂げたが、民政黨の觀測によれば齋藤首相は時局の重大性に鑑み、あくまで現狀通り政局を擔當して進む決心であつた處、たまたま、藏相が辭意を表明したので政變說が起つたが、これとても藏相が今直ちに辭職し度いと表明したのではなく、只漠然と罷め度いと申出たので首相は或る時期まで現在通りやつて貰ひ度いと懇談慰留して居るので適當な機會には首相は藏相の後任者を政友會から補充し、內閣改造を斷行してあくまで現下の政局を擔當して行く確信を持つて居る事は確實である、而して首相が內閣の改造に着手する事になれば政友會は後任藏相の推薦を拒絕する事も考慮に入れて置かなければならぬので、萬一の場合は政友會と一戰をも辭せず、議會の解散を覺悟しなければならぬので、此點に就てはすべて

＝首相＝ の決意如何により決せられる事故民政黨としても今後の成行きを一層警戒し、萬遺漏なき政策を講ずる事になつて居る

外交官異動

（東京五日發國通）

大使館二等書記官　加藤傳次郎
命佛國在勤
大使館三等書記官　西村熊雄
命國際聯盟帝國事務局事務官
命巴里在勤
大使館三等書記官　三浦和一
命ソヴエート聯邦在勤

領事　緒方鷲雄
命ペトロパヴロウスク在勤
副領事　米三元之助
命ホノルル在勤

樞府顧問官候補者
有吉樺山の兩氏

（東京五日發國通）齋藤首相は本日午前樞府散會後倉富議長と會見し顧問官一名補充に就き協議したが、政府側候補者は有吉忠一氏で樺山愛輔氏も相當有力である

宋中央銀行總裁辭職

（上海五日發國通）中央政府會議は宋子文の中央銀行總裁の辭職を許し、孔祥熙を後任とすに決定した、尙ほ宋子文は蔣介石の諒解を求めた上財政部長をも辭して外遊すると傳へられてゐる

米財界復活
金輸出禁止を緩和

（ワシントン五日發國通）米國政府は金融恐慌對策として去る三月五日以來金の輸出を禁止し並びに金兌換を停止して來たが、國內の金融狀況が漸やく常態に復さんとするに至つたのでルーズヴエルト大統領は愈々五日即ち金本位制離脫以來將に一ケ月を以て金輸出禁止を緩和し、特許制度に基き商取引上必要なる金の交換を許可するに決した、右大統領令の要旨は左の通りである

一、產業上の必要と商業上の目的その他滯藏に非ざる合法的必要に應ずる爲め金の兌換を特許する權限を財務長官に附與す

一、百弗を超ゆる金貨、金塊乃至金券を有するものは五月一日迄に右超過金貨、金塊及び金券を他の貨と引替に聯邦準備局へ引渡すべきものとす

一、本令に違反したるものには最高一萬弗の罰金若くは十ケ年間の禁錮に處し乃至は兩者を併科す

英國の對露商品輸入禁止法案要旨

（ロンドン四日發國通）英政府は四日ソヴィエツト商品輸入禁止法案を議會に提出之を公表した、該法案の要旨左の通り

一、商務大臣に對し、ソヴィエツト聯邦に於て清算され制限されたる物貨商品の輸入の布告期より禁止すべき制限を付與す

二、本法案は四月廿八日より實施す

世界經濟暫定會議
二十二日壽府で

（ロンドン發國通）米國軍縮全權デヴス氏が米佛兩國當局と打合せを行つた結果、世界經濟會議を組織、時期は暫定

一昨年虐殺の大每連絡員乘用のサイドカーを發見

（奉天五日發國通）去る三月末より遼河地區に出動した王殿忠麾下遼河地區遊擊隊は四日朝大窪西方八キロの盤山楔に於て匪首西山及び東洋の匪賊卅名と遭遇交戰一時間の後これを撃退し同地海岸に於て殲滅したこの戰鬪に於て遊擊隊は多數の銃器を押收した外一昨年十二月三十日大阪每日新聞連絡員油井義雄、伊藤義光兩氏を虐殺した上掠奪したサイドカーも發見した

人事往來

▲甘粕大佐（步兵第〇〇〇隊長）五日午後三時三十五分來京同四時三十分南行
▲下枝中佐（第六高等學校服務）同上
▲富澤大佐（關東軍司令部附）五日午後四時三十分奉天へ
▲坂田大佐（關東軍參謀）同上
▲木村大佐（陸軍省技術本部附）五日午後七時五十分來京
▲原少佐（新京憲兵分隊長）五日午後零時三十分公主嶺へ
▲河本理事　六日午前八時四十分歸京
▲小磯參謀長　六日午前八時南行
▲張景惠（軍政部總長）五日午前八時四十分哈爾賓へ
▲增韞（參議）同上
▲郭文林（執政府翊衛軍々長）同上
▲上砂少佐（關東憲兵隊高級副官）五日午前九時南行

告示

告示第五號

昭和八年四月一日新京居留民會ニ於テ常議員ノ互選ニ依リ左記ノ者其ノ頭書職員ニ當選シタルニ付之カ就任ヲ認可セリ

記

會長　田中善平
副會長　松永時三

右告示ス

昭和八年四月一日

在新京　總領事　栗原正

眞善美の極致

東洋文化のシムボル　國都建設への諸計畫すゝむ

北滿の野に畫かれた蜃氣樓

滿洲國々都建設計畫は愈々進捗を示し解氷と共に槃あるクヒ打の日は目前に迫りつゝあるが、五日建設當局から發表された計畫の内容は左の如くである

一、二十年後は五十萬以上の人口となる目途で二〇〇平方キロに市街地設備を施す

一、新國家の表玄關とも言ふべき中央停車場は現在の新京驛と孟家屯の中間に建設される東西市街をつなぐ驛内の道路は軌道の面を堀下げて平面な陸橋とし兩市街を平等に發展させる

一、驛を起點とする幹線道路大同街は一直線に市街の中央を貫き南嶺に及ぶ、二つの幹線を新京のメーンストリートとしその兩側に銀行會社、大百貨店、諸商店を發達させる

一、順天廣場を中心として滿洲色豐かな執政府が南に面して建てられ、その後方周圍廣場は要人の邸宅地とし禁衞所もこの附近に建てる

一、電車の騷音や電柱のない而して綠林池水に惠まれた公園都市たることを目標とし五年後には北滿の野に畫かれた蜃氣樓のやうに美しい市街を現出せしめ國都をして眞善美の極致、東洋文化のシムボルたらしめる

滿洲號の命名式　十一日周水子飛行場で

在滿邦人その他によつて陸軍に獻納された軍用飛行機五機の命名式は來る十一日午前十時から周水子飛行場において盛大に擧行されることになつた當日の次第左の通り

一、修祓　一、降神　一、獻饌　一、祝詞　一、經過報告（獻納者總代）　一、獻納（獻納者總代より）　一、命名　一、來賓祝辭（陸軍大臣代理）　一、齋主玉串奉奠拜禮　一、操縱將校總代同　一、撤饌　一、昇神　一、來賓飛行機觀覽　一、飛行（式場上空にて高等飛行を行ふ）　一、萬歳三唱　一、閉式　一、祝宴（獻納者側主催）

小磯參謀長南下

小磯參謀長は五日午後十時發列車で大連で行はれる、在滿同胞の獻納、飛行機命名式に列席の爲南行した

東洋道德の根本　孝子烈婦の表彰　端午の節句をトして

張家一派の多年の暴虐によりふみにじられて顧みられなかつた孝子烈婦が此の程調査員の實地調査により、奉天省、吉林省、黑龍江省の三省を通じ五百名近くに上つて居るが滿洲國政府では淸朝時代よりの滿洲獨特の東洋道德を尊重獎勵の見地から來る五月五日端午の節句を期して此の中より更に七十名を嚴選し表彰する事となつた

滿洲國の法律指針　六法全書脫稿　刊行は五月中旬ごろ

滿洲國司法部で編纂中の日滿對譯滿洲國六法全書は既に脫稿し目下印刷中で、遲くも五月中旬迄には刊行の運びに至る豫定であるが、同書は菊版千三百頁大冊で、內容は政府組織法、人權保障法、民法（第一編總則、第二編債權、第三編物權、第四編親屬、第五編承繼並に各施行法）公司法（會社法）同施行法、票據法（手形法）同施行法、海商法、同施行法、民事訴訟條例、同施行條例、東省特別區法院民事訴訟規則、民事調解法、民事公斷暫行條例、登記條例、不動産登記條例、刑法、刑法施行法、暫行懲治叛徒法、同盜匪法、同施行法刑事訴訟法等より成り、滿洲國唯一の法律指針として刊行を期待されてゐる

法院並に檢察廳　編成法第一草案成る　―一頭三審三級制―

滿洲國憲法の基礎となるべき法院編成法並びに檢察廳編成法は憲法制度調査委員會の設置とともに司法部に於て鋭意起草を急いだ結果、漸く第一草案を完成、目下法令審査委員會に於て審議中であるが、從來の二頭三審四級制を一頭三審三級制に改正司法制度を確立（治外法權撤廢の緒を拓かんとするものである

嶄新を誇る　新京屠獸場愈よ建設

新京特別市政公署で計畫中の屠獸場並びに家畜市場の開設は滿鐵側との交渉纏り、解氷期を待つて吉長站東方市所有地に建設さるゝ事に決定した同屠獸場は資本金廿萬圓の株式組織とし、持株は滿鐵市政公署にて折半する事となる模樣で、屠獸場設備は日本式に西亞式の長所を取入れた嶄新なもので、罐詰工場を附隨せしめ全滿各市場は勿論、內地輸出を目標に「新京牛」販路擴張に新機軸を拓かんとする計畫である

五人組拳銃强盜　拳銃と大金を强奪の上電話線を切り逃走

新京西雙橋大街門牌四十九號義和公油房こと趙璞方へ四日午後七時三十分ごろ五人組の拳銃强盜が裏の高塀を乘越へ裏門の開いてゐるを奇貨とし屋內に押入り家人十名に拳銃を突附け伏せしめた後主人趙を別室に押し込み「お前の內には拳銃が二挺ある筈だ拳銃と大洋五千元」を出せと脅迫し、モーゼル三號型二挺、彈丸百十發、新彈帶一個吉林官吊二萬三千四百吊吉林大洋二十四元、哈大洋五十四元を强奪した末電話線を切斷し家人を尻目にかけ悠々と押入つた方から逃走した、急報に接した首都警察廳並に南嶺警察署で目下犯人搜査中である

燕樂傳習所開幕　合格者氏名

滿洲國燕樂傳習所は本六日午後十時東三道街の孔子廟に於て開幕式擧行されるが募集卅名に對し約百名の應募者殺到中には現在執政府の樂士も十名ばかり、其他滿人インテリも多數あつたが、口頭、筆記、再試驗で成績優良者左記卅名が合格した

錢紀　李鳳雨　李勝林　周壓　啓熙　董鴻禮　元成　王秉芳　周德奎　張翰賢　啓然　趙家桂　繼斌　李貫一　金印　安承恩　文華　操仁　崇俊　于尙　于哲園　任福安　兪澤霖　吳懷州　于宗舜　張禹山　周笑梅　閻俊恩　李振文　李淞濤

海拉爾に協和會分會開設

滿洲國協和會では海拉爾に分會を開設するに決し、來る九日發會式を擧行することになつた、これより先協和會ハルビン地方事務局よりハイラルに工作員を派遣して中學校、青年訓練所設置を始めとし、同地は滿人、蒙古人、ロシヤ人、日人と各民族が雜居してゐる土地柄之等民族協和の實を擧げる爲め各種工作を行ひつゝ文化建設に努力してゐたが、愈々萬端の準備も整つたので今後は本格的な活動を期して分會開設の機運を見るに至つたものである

母國見學　高女生旅行記

第四信

三月卅一日、天候に惠まれてゐた我旅行團も今日の春雨には少々閉口然し京の春雨如何にも詩的である、昨日日程を繰り下げたため今日は又いよ〳〵山盛だ六人乘の小型タクシーを雇ひ全コースをドライブすることになつた、九時五十分のタクシーは新京高女のマークも鮮かに雨中の三條通より先づ銀閣寺に向ふ、義政將軍の遊樂の跡を偲ぶに十分なるも私達の豫期した銀閣とはあまりに相違してゐるのを見て一同少からず氣ぬけの態であつた、然し中に藏された寶物の說明を聞いて二度ビツクリ、應擧岸駒何れも私達の歴史で習つた樣な有名の人の親筆を面のあたり眺められて大變嬉しかつた、平安神宮に詣で武德殿の横を通つてインクラインに出る、船が陸上を行くのを見て今まで話の樣に聞いてゐるがこれを目のあたり見て初めて合點する、それから智恩院に行くN先生について元氣よく石段を驅け上る、鶯張りの廊下も不思議であつた內に行くにしたがひ聲が高くなるので皆自然に靜に歩む靜かに步めば一層よく聞えてくる、色々の間が澤山あつて襖はこれも皆狩野元信とか信政とか銀閣寺に劣らない立派なものばかり圓山公園に出る「春雨や蕾はかたし東山」とはA先生の名句本當にまだ滿開までには十日も要するだらうと考へると吉野山がどうかと案じられる、八坂神社の前を過ぎ坂道を暫く驅つて淸水寺に着く雨は稍小やみになるも西山一帶は煙霧に包まれてゐる、舞台に廻り音羽の瀧を見る瀧と聞いて皆ドレ〳〵と尋ね合ふいよ〳〵わかつて二度ビツクリ恐らく世界中で一番可愛い瀧だらう、塔を背景にして記念撮影をするN先生は私達の位置を大變やかましく言はれて準備に十數分を要する、漸く寫して下山澤山可愛いお人形が立んで居るので皆買いたい〳〵と言ひながらも早先頭の車は出發するのですぐ飛び乘る、坂を下つてしまふと西大谷博物館、豐國神社、大佛、を車中より拜し三十三間堂にて下車、安置された佛像三萬三千三十三體といはれてゐるが本當だらう堂中金佛で埋つてゐる、中央の觀音菩薩の横の四天王は端慶の作後へ廻れば雲慶端慶の作ばかり何れも國寶の札がついてゐた私達が見ても如何にも立派な藝術品と思はれる、薄暗い廊下に陳列された佛像は動き出しさうで氣持の惡いほどである恐らく私達一人では逃げだすだらう、こゝを出て愈々伏見桃山に驅る、途中十六師團司令部に前第四聯隊長大島大佐を訪問する筈であつたが丁度御留守と聞いたので明日改めてお尋ねすることにした伏見街道を南に進むと數分で稲荷神社の前に來る赤い大きな鳥居が見えたので說明を聞かずとも一同すぐ了解した、愈々玉砂利を敷きつめた廣場に到着したので御陵の近くだとわかつた、一時過ぎになつたので先待合所に這入て晝食をすましそれから愈々御陵に參拜することになつた、坂道には見しきれいな砂利が敷かれ兩側は色々の樹木が生茂つてゐる、一二三丁目行つた處に乃木神社がある、一同下車して參拜す、境內には大將の生立等の模型もあつた至つて御質素な御心はこんな質朴な家庭に於て養成せられたのであらう、本當に大將の御一生は凡て私達の龜鑑であることを出て又坂道を登ることしばし高い石段を登りつめると愈々御陵の前に出る、照憲皇太后の東御陵と先生より御話しがあり一同外套をぬぎ恭しく參拜した、それから再び石段を下り右の方へ廻り小道を行くと廣い道に出た、石段を上り前と同じ樣な御陵の前に出た之が即ち桃山桃山の御陵で明治大帝を御祀りしてあるところだ一同嚴粛に參拜す豫定にはなかつたがこれから宇治に行くことになつた、春雨は糸の樣に降りて尚止まないが殆んど自働車にのつてゐるのであまりつかれもしないので豫定外の處か加へられた竹籔の多い田舍道を走ること十五六分で宇治につく、先陣佐々木高綱の渡つた宇治川、流れは相當急流であるがもう少し大きな川と思つてゐた私達は多少氣拔けの態だ、小さい橋を渡つて中の島に出それから廻つて鳳凰堂の前に出る、こゝで又記念撮影、それから賴政の自害したといふ扇が芝の前を通り街へ出る名物茶團子を一串づゝ頂いて再び車上の人となり宇治川の堤防をドライブして京都に歸る、これが上流では瀨田川下流で淀川となる說明せられた大分時間が少くなつたので急ぎ東西本願寺に詣づ之は參拜だけに止めた之より北山の金閣寺まで全速力金閣寺も今は樓上に登らないことになつてゐるので庭園を一巡りして急いで乘車愈々最後の目的地たる嵐山に驅る、京人は嵐山といふより一般に、嵯峨と言つて居るそうです」このまゝではまるで市の雜踏から離れた別世界芭蕉が、「明月や池を巡りて夜もすがら」と歌つた廣澤池鼎をかぶり踊つたといふ徒然草の仁和寺を見て懷しい氣分のするこころばかり折しも春雨全く晴れ衣笠、愛宕の山々も綠に蔽はれて美しく右手に迫つてくる竹籔ばかりの道を走つて嵐山につく山紫水明といはれてゐるが京都は本當にこゝに行つても淸い流である渡月橋のほとりに車を止め橋を渡り川原に下り一帶を背景に記念撮影あれが小倉山ですと聞いては紅葉の秋が偲ばれる凡そ半時間ほど遊ぶ今日は朝からお天頭樣とこん比べ遂に私達の願達して晴間を見せ夕日さへ照り初めた、再び乘車歸途に就く太秦一帶には撮影所が澤山あるので一ケ所位見物したいが時間がないので省いて嵐山軍車に沿ふて走る

菜の花やかすみに寢る東山

（京都にて）

愛國滿洲號五機　昨日所澤を出發

〔所澤五日發國通〕飛行學校で整備し終つた愛國滿洲號五機は大連に空輸されるべく午後零時五分近藤少佐を編隊長として銀翼を連ね出發した、八日大連着九日命名式を擧行し、十日更に新京に向ふ筈である

美しい相互扶助の氣持に生きる通化

去る三十一日通化を出發し雪解けで泥濘の惡路を荷馬車に搖られて本月三日奉天に到着五日新京に歸來した滿洲國協和會通化辨事處處長平山節氏は新京中央事務局で最近の通化縣の狀況について左の如く語つた

通化は現在人口五萬、その中三十名ばかりの邦人もゐるが通化隣接村一帶に王鳳閣の指揮する匪賊約三千が虎視耽々として機會あらば通化乘取りをやらうとしてゐる爲人心は尠なからず動搖してゐる、通化縣も未だ物資缺乏し農民は疲弊してゐる、協和會は縣公署の行政と歩を揃へて通化縣內の樂土實現に努力してゐるが、今日までにやつた事業としては、青年訓練所と愛國婦人の設置並びに日語學校の開校だ、訓練所は全縣五十九村から一名づゝ選拔して組織的な訓練を與へてゐる、これは將來自衞團にまで擴大して縣の自治自衞に當るに足るものに成長するだらう、日本語研究熱は他縣同樣なかなか旺盛で去る二月二十五日招生した五十名の募集に百五十名の應募者があつた、これにはその局に當つた自分も驚いた日本の三陸地方の震災を新聞で知つて義捐金を募つたところ、あの疲弊してゐる片田舍で大洋二百七十元が旬日ならずして集まつた、この美擧にかゝる邊境の民衆さへ如何に隣邦日本に多大の關心を持ち美はしい相互扶助の氣持に生きてゐるかをまざまざと見せられて、これは外交官の百萬言にも勝る日滿融和の發露だと思つたかう言つたやうな些細な事が日滿提攜の楔機となつて好ましい將來を約束するものではないだらうか

下九台の邦人寄附

吉長線下九台滿洲醬油特約店中原力平氏は五日午後二時三十分頃新京憲兵隊本部を訪れ金五十圓を在滿皇軍慰問金として寄附を申出たが、同氏は語る

八年前單身で長崎から渡滿し下九台に留り營業を續けて來たが、滿洲事變突發に遭遇し自己の生命財産はおかされず生存してゆけることはみな皇軍の賜で、自分等は深く〳〵感謝の意を表せねばならないと思ひ、日頃蓄へた一部を皇軍の慰問に使つて預けば結構と思ひ寄附を申入れた譯であります

正直な馬車夫　置き忘れた品を本社へ屆出る

六日晝本社を訪れた百九十七號の客馬車夫が小さな風呂敷包を出し、昨日こゝから驛まで乘つて行つた二人連れの日本人が車上に置き忘れたものだと屆けて來た、同日は朝來夥しい訪問者があり誰の遺失品とも判明せず在中品はサツク入りの旅行用具、空氣枕、新京案內等で推測すると新聞購讀申込に來社した伊豫松山の雜貨商の物らしく兎に角受取つて置いたが近頃珍らしい正直な滿人馬夫である

傷病兵來京

六日午後三時三十五分着列車で哈爾賓から傷病兵三十名が來着、內十五名は新京衞戍病院に收容他は鐵嶺衞戍病院に送られることゝなつてゐた、因に右傷病兵は主として第十師團に屬する人々である

櫻の名所鎮江山　今年は大々的に宣傳　接待委員會も生る

〔安東發〕滿洲國協和會は滿洲唯一の櫻花の名山鎮江山にも花が展開されるので之を廣く且つ大々的に宣傳の爲大幟や煙火や、日滿美妓の、民族協和劇、ラヂオ放送、ポスター、ビラの配布、飛行機宣傳、蓄音器、映畫撮影等を爲すべく目下立案中である、尚安東でも外客接待委員會が本年こそはと力んで寄々協議中であり又池田氏も六日頃新京から歸安し、例年の如く雪洞其の他の裝飾準備に着手する筈だから、今春の鎮江山は一層の賑ひを呈するであらう。

感謝

松竹派天勝、藤村梧朗、明石須磨子長春座開演に際し聊か平素の御眷顧に酬ゆるため讀者優待割引を行ひたる處非常なる盛況を呈し爲に座席の等級等も亂れされ御迷惑相掛けたる模樣何とも申譯無く御詫び申上候

新京日々新聞社

毎年美しい民族協和の幾場面

萬里の長城に櫻

〔山海關六日發國通〕萬里の長城に櫻を植えることゝなつた話。山海關憲兵隊では鈴木〇〇隊長が山海關入城の際「萬里の長城に櫻を植えたい」と云つた言葉もあり、淒しい砲聲の中に長い冬を過した我軍將士の間にも優しい春の訪れと共に內地の櫻をあこがれる聲切なるものあるので愈々此春先づ山海關長城西側斜面の土手に櫻の苗木を植えることゝなり着々その準備を進めてゐるがまだ苗木の購入運搬に頭をいためて居り山海關在留民は內地方面から有志の誠心こめた苗木の寄贈方要望してゐる

興安總署對監察院野球戰

來る九日の日曜日午前十時から興安總署對監察院の對抗野球戰が新京憲兵分隊前廣場で行はれる

アクロン號　唯一の生存者　ワ少佐の報告

〔ニューヨーク四日發國通〕アクロン號遭難將校中唯一の生存者ワイレー少佐の報告によれば、アクロン號は三日午後八時四十五分フイラデルフイヤ南卅哩の場所で颶風に遭ひ午後十時雷電に包圍され、四日午前零時再度雷電に包まれ、下降砂袋を捨てゝ高度を保たんとしたが、三分後また暴風雨の中心に入り、船體傾斜爲に海面に下降激浪に激突船體は粉碎された、雷光をすかして多數船員の泳ぐを見たが船體は忽ち押流されて行つた

聖上　御見舞電を發せらる

〔東京五日發國通〕天皇陛下にはアクロン號遭難の趣聞し召され、五日米國大統領に御見舞の御親電を發せられた

一萬二千餘圓の大泥棒　日魯漁業重役邸の盜難

〔東京五日發國通〕五日午前一時から六時頃迄の間に芝區高輪北町日魯漁業重役山下太郎邸裏手下の硝子戸を破壞して一名の賊忍び入りダイヤ入金指輪外貴金屬八點衣類現金合計一萬二千四百三十五圓[illegible]逃走した犯人搜査に着手したが未だ逮捕されない

嬉野の菊彌

花柳の噂

あら、あたしにこにこり笑つて盃を受ける手つきを見るとなかなかいける口らしい、男でも女でもお酒のいけないのは盃の持ち方でわかるやうですね、ごらんの通り豐頰、現代式の容色、年は十九才

×

これは三笠町の料亭嬉し野の菊彌であります、東京は下谷池の端古河家で小奴と云つてゐました妓、滿洲國の王道樂土、その首都新京に大きなあこがれをもつて遙々と武者修業ぢやなかつた藝等修業にやつて來たんださうであります

×

馴れない氣候風土に早速ノドをいためオキシフルで頻りにウガヒをやつて居りましたがもう恐らく全快鶯囀燕語で新京人を惱殺してくるでせう

けふの銀相場

鈔票	金票	十八圓五〇錢
大洋	金票	九六圓四錢
國幣	金票	九十五圓五錢
大洋	鈔票	九六圓八錢

幕末異聞

愛慾火箭

作　瀧川駿
畫　村瀨洗舟

（上海上映）

（二十二）

急な　お召（一）

與四郎を乗せた駕籠は、遥に遠ざかつて行つた。

「もう[illegible]か？」

駕籠かきは、不安に驅られて思はず聲を出した。

「うむ」

殘りの三人は、たゞ斯う言ふだけで何事も、口には出さないが、各自の胸には不安な氣持ちが充ちてゐた。

「拙者は後をつけて、見屆けて參る譯に、貴殿たちは、備後殿をはじめ同志の人々に、この由を傳へて頂きたい」

斯う、言ひ殘して水戸守嫡介は、轉ぶやうに石段を下つて行つた。

與四郎を乗せた駕籠は、八重垣山を下りると、小濠れに沿つて進んだ。

駕籠の中で、與四郎は絶えず注意を怠らなかつた。刀を左手に持つて、何時でも抜けるやうに用意をしてゐた。

と、與四郎は耳を欹立てた。

それは心地よい春風とともに、駕籠の中へ吹き込んで來る、巽八景の一節の三味線の音色だつた。

駕籠の中で、與四郎は三味線に誘はれて、思はず巽八景を、口ずさんでゐた。

三味線が、はたと止まつたので、與四郎ははつと氣がついて駕籠の小窓を開けて見た。

なごやかな陽日が、駕籠の中まで差し込んで來て、菜畑の黄金色の波が駕籠に映つてゐた。

そこからは、千島城の天守が美しく見えてゐた。鬱蒼と繁つた老木の影が、お濠の死水に影を落してゐる。

駕籠は、最早松江の城下に入つて濠に沿つて歩いてゐるのであつた。

駕手、見附門を潜つた駕籠は西丸の方へ向つてゐた。

「茂助様」かう昔から呼ばれてゐる堀尾吉晴を祭つた祠の傍を過ぎて、與四郎を乗せた駕籠は、注間所の玄關先に、ぴたりと着いた。

「御門殿、お着き申した」

小者が草履を揃へて、戸をすうつと開いた。

與四郎は、心地良さそうに、腰の肱掛に凭りかゝつて眠つてゐた。

「御苦勞でござつた」

與四郎は刀を携げたまゝ、草履の上に、突立つた。

「斯う、お越し下さい」

「はつ」

與四郎は、寅次郎に連れられて注間所の長廊下を傳つた。

「暫らくお控へ下さい」

斯う、言ひ殘して寅次郎は引き下つて行つた。

廣い座敷の眞中の火鉢に、櫻炭が赤々とおこつてゐた。まだ底冷がする、廣い座敷だつた。

でも、堀尾公が植られたと傳へられてゐる、老躑躅が青苔の間に眞赤に咲いてゐた。

静寂、そのものである。

時々庭の泉水に躍る鯉の水音と、お城の裏山で鳴く、喧騒な五位鷺の聲が静寂を破つた。

長い廊下に足音がした。相當な年配の人と見えて、踏む足音に力がない。此方へ來るらしい。グーと扉の軋る音が、無氣味に廣い座敷へ傳はつた。

隣間で鼠が騒しる。この時、背後の襖の陰で足音がして、襖がすうつと開いた。

「與四郎殿、お待たせ申した」

皺枯れた聲が響いた。與四郎は坐り直すと、頭を下げた。

「態々のお呼び出し、有難う存じます」

與四郎の聲は、低かつた。

四月七日　金曜　舊三月十三日　癸卯　閉　亢宿

●一白の人　思案に沈むよりも郊外散歩、鬱氣を散らせ　庚と癸と寅が吉
●二黒の人　疲れたりとて急くな足元の小石に注意せよ　丁と戊と亥が吉
●三碧の人　一家心を一にして家業を勵まば利益大なり　丙と庚　寅　吉
●四緑の人　運氣盛なれども心靜に完全の策を取るに吉　乙と庚と寅が吉
●五黄の人　人の為に迷惑を蒙る事ある日世話事避けよ　戊と亥と壬が吉
●六白の人　謀る所沈着なれば効果揚る但失物盗難警戒　丁と亥と癸が吉
●七赤の人　物事に限あるを知り七分にて滿足せば吉　丙と申と戊が吉
●九紫の人　勞して功薄きも遠方との商取引は結果吉し　丁と亥と寅が吉

大正十二年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價 郵稅 [illegible]
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇〇・三五二二番
發行人 十河忠男 編輯人 松本啓二 印刷人 谷[illegible]

國都計畫全く成り 愈よ土地の拂下げ
目拔商店街は廿五圓見當か 方法その他決定

新京が首部と決定すると同時に忽ち土地利權屋の一大好餌となり、次で國都計畫の進捗と共に區域内は勿論その周圍一帶も地價暴騰の豫想から猛烈な拂下の要望が起つて來たけれども、之が當然利權の對照となる虞から生ずる百般の弊害を防止する爲當局に於て土地の拂下一切を禁止してゐたが愈國都計畫も完成し拂下の準備も出來たので來る五月から左の要領で拂下を實施する事となつた

拂下方法 イ原則として最高額競爭入札により入札希望者は幾口の競爭にも參加し得る入札執行の場所時日は新に公報する ロ利用目的が競爭入札を許すべきものでない公共用又は公益事業へ必要なる場合等は國都建設の助成となる場合等は嚴重に詮議した上で指名競爭又は定價を以て希望者に抽籤させるが或は定價で拂下げることもある

拂下單位 イ、小賣商店一筆間口五間奥行二十間（一百二十坪） ロ、商貸卸商等は幹線街路で一筆約五百坪 ハ、住宅地は一筆百坪、一百二十坪、二百九十坪、二百六十坪但前三項とも二筆以上合同使用も出來る

拂下價格 競爭入札であるから競爭者の數に從ひ入札價格をも昂騰するが大体の標準は目拔商店街坪二十圓乃至二十五圓、住宅地では八圓前後であらう、右拂下なす計畫區域は大新京の中心となる處で將來を思へば破格と云へる、なほ土地拂下に生ずる財源は悉く工事施設に投ぜられるのであつて、斯くて我等の國都は國都の人々で完成されるのである

小山法相 首相と會見
一蓮託生を諒とす

【東京六日發國通】小山法相は五日午後二時十五分官邸に齋藤首相を訪ひ重要會見を爲し同三時辭去したが、右會見で先づ首相より園公との會見顛末及藏相との折衝の結果等につき説明を聽き、法相よりは司法部内の赤化事件の取調情況を報告更に司法部内の赤化事件は議會に於て問題となり殊に貴族院に於ける秘密會議の言明も事件の内容が判明すれば責任の所在を明かにすると云ふのであるから取調の進展に伴つて自分の進退を決することになるであらうと説明したので、首相は此問題に依つて法相に責任が及ぶやうな場合は單に法相のみの責任に歸すべきに非ずして政府全体の責任と解すべきであるから斯る場合は一蓮託生と爲すべきであると自重を懇望されたので法相も之を諒とした

丁士源氏 執政に面接

五日夜六ヶ月ぶりで歸京ヤマトホテルに投宿した丁士源は六日午前中執政府に赴き執政に面接、種々報告の上下問に答へ、午後は外交部總長外各部總長を訪問歸國の挨拶をした

新京みやげ 專門賣場を各商店に
一般視察者の便宜をはかる
輸入組合役員會で決定

新京輸入組合では去る三日夜第一回役員會を開催まづ理事より月報の内容に就き詳細説明報告あり次で低資運動の經過に關し聯合會よりの通知に關し之れが内容を報告あつて左記協議事項を決議した

一、新規加入希望者に出資拂込方法を緩和するの件

理事より新規加入希望者にして金融以外の便宜利用を目的とするものにして、一時に出資金の拂込を苦痛とする向には之を十ヶ月に分割して積立て置き十ヶ月目に組合に加入の手續を爲すこととし其間は購買傳票其他金融以外便益を利用せしむることにしたしと提案し贊否を諮りたるに全員異議なく之を可決

二、土産品販賣に關する件

土産品の專門販賣店の設けなきは一般觀察の不便を痛感しこれが設備の急は在京邦人一般の認むる處にして地方事務所勸業係、商工會議所、輸入組合の三者にて之れが實現を計劃し協議を進め居るも適當なる場所を得るに至らざるを以て差當り各商店に於て土産品の專門賣場を設け店頭に適宜之を表示し、組合に於て適當なる印刷物を作成し驛の案内所又はツウリストビユーローに備付け觀察者に配付し購入の便を圖りては如何と理事より提案し全員贊成の上之れが實行方法は之を理事に一任することとなつた

三、新規加入申込者審議の件

理事より左記申込者に關し之れが内容を説明し審議の結果加入承認可決
陶磁器 硝子器 加藤陶器店 加藤義雄 口數一〇

四、增口申込者審議の件

左記申込者審議の結果之を承認可決
茶及世帶道具 河村久市 在來口數二五 增口數二〇

パ氏ローマ訪問

【ベルリン五日發國通】副總理パーペン氏無任所大臣ゲーリング氏は近日中にローマを訪問することに五日正式に確定された

國際勞働會議から 斷然脱退せよ
極右勞働團體側 時節柄注目さる

【東京六日發國通】聯盟脱退に關連して聯盟に屬する國際勞働會議からも脱退せよ、との議論が極右勞働團體から起つて居るが資本家側にも此の議論が擡頭し來り重視されてゐる、即ち關東産業團體聯合會常任委員會で勞働會議は從來の經緯上歐洲中心の勞働問題を主題とし日本の實情に適合せず、軍縮とは全然會議の性質を異にして居る、と非公式だが脱退論を高唱し時節柄重視されてゐる

重光公使が 昨日帝都入り
東京驛頭さすがに 歡迎人で渦卷く

【東京六日發國通】重光公使は花曇りの六日午前九時十二分東京驛着、驛頭には入間野總理秘書官、内田外相、有田次官等外務關係者、藤田海軍次官及び高橋次長、大谷宮内次官、石井、松井前兩大使等官民多數出迎へ、植田中將、本庄中將の顔も見えた、内田外相は今日こそ元氣で着實をこめた握手を交ばし重光公使が不自由な足で開札口に出れば怒濤の如き歡迎人の萬歳の聲が起る、同九時五十分外務省差廻しの自動車で宮中に參内鳳凰の間に進み拜謁を賜はり優渥なる御言葉を賜はり、次いで皇后陛下に拜謁を賜はり賢所に參拜の上同十一時頃御前を退下したが十日公使に對し御慰勞の御陪食を賜はる筈で公使として御陪食の榮は破格の恩命である

光榮に輝く重光公使
兩陛下に拜謁

【東京六日發國通】宛ら凱旋將軍の如き光榮に輝いて六日午前九時十二分東京驛着入京した隻脚の公使重光葵氏は直ちに宮内省差廻しの自動車で東御車寄より參内、特に差許された杖を手に感激しつゝ十時十五分鳳凰の間に參進、斯くて天皇陛下には陸軍通常禮裝を召されて出御、鈴木侍從長、奈良武官長侍立の上同公使に拜謁仰付られ、有難き御言葉を賜ひ、公使は御優遇に恐懼しつゝ恭しく御禮言上御前を退下、次で御内儀に進み皇后陛下に拜謁、同樣の御言葉を賜り御禮言上の上御前を退下、引續き賢所參拜仰付られ、十一時十九分宮城を退出した

本庄侍從武官長
親補式行はせらる

【東京六日發國通】天皇陛下には六日午前十時宮中鳳凰間に出御齋藤首相侍立の上侍從武官長の親補式を行はせられ軍事參議官本庄中將に對し親補の勅語を賜ひ、首相より左の職記を授け 陛下入御遊はされた

陸軍中將從三位勳一等功三級 本庄繁
補侍從武官長

同時に陸軍省より左の如く發令された

軍事參議官 陸軍中將 大庄繁
免本職

被仰付後備役 陸軍大將 奈良武次

尚奈良大將の侍從武官長の職は辭令を用ひずして自然消滅となる

永野軍縮全權
會議の結果を上奏

【東京五日發國通】軍縮全權永野中將は六日龍田丸で歸京するが、同全權は七日伏見軍令部長宮殿下に御陪食賜り、大角海相に挨拶をなし、十日建川中將と共に宮中に參内、陛下に拜謁を賜 會議の結果を上奏する

亞細亞民族よ 大同團結せよ（一）
趙欣伯

歐米と絶緣して 我同胞亞細亞民族を救へ

去る二月廿四日國際聯盟總會は十九國委員會の作製したる勸告を含める報告案を採擇し四十二對一を以て可決するに至つた、此の報告書は云ふ迄も無く、聯盟が其の權限を超越し國家的範圍に迄擴大し、我滿洲國三千萬民衆の總意を無視し、日本の我國承認を否定し、一年以上の永きに亘り聯盟の當然らざりしを得ざるを説き、經過が必然的にして東洋中和の時の事態に至る迄、此の間の建國、日本の滿洲承認及び現に日本が滿洲事變以來滿洲國のみ然し乍ら今次の紛爭に當り、更に干渉を加へて東亞の平和を攪亂せんとするのであるから、日滿兩國の容認し得ざるは勿論遂に今日此處に於て日本の國聯脱退を招來せしものである

盟を正常なる認識に復せしめんと努力したる事を觀れば、日本の脱退は實に已むを得ざるに出たるものなるは明かである、該報告書なるものは聯盟が東洋の事態に關して無知無識なるを暴露し、僅かに歐洲諸國の聯盟たるに過ぎざるの本質を明瞭になし來つたに外ならざる處であると、斯る性質を有する聯盟が亞細亞に關して論議することは元よりであつて、之より生ずる不當なる判決は日滿兩國のみならず亞細亞諸國家及び民族に對する侮辱であると謂はざるを得ない、元來彼等の眼中に在るものは單に歐米の利害に關するもののみであるから、

彼等が如何に理論を弄するとも亞細亞の平和に對しては、根本的に何等の關係も無いのである、彼等が亞細亞の平和を維持する意思を有せざる以上、彼等が亞細亞との協力を拋棄し去りたるものと我々は考へるのであるから、今や袂を別つの外はないのである、歐米諸國にして如斯自ら亞細亞と絶緣せんとするならば、亞細亞の人類たる我々に課せられたる任務は、正義の信念に據りて亞細亞に還り其の平和繁榮を圖るべしと謂ふに存する、聯盟よ欲する處を爲せ我は亞細亞民族の天命を自覺して人類の幸福を招來せんと努むるのみである

何の直屬部隊 秦皇島に急增
盛んに陣地を築く

【天津六日發國通】前線よりの確報によれば親滿義勇軍は五日夕刻遂に海陽を占據せしが、六日午前一時より支那軍逆襲を開始、拂曉にかけて銃砲聲を盛んに聞く、目下支那軍は海陽鎭の西方に陣地を築き約千米を隔て丁强軍と對峙し、頑强に抵抗を試みつゝあるも、親滿義勇軍の增援に敵は漸次北寧線近く潰走後退の氣配を示してゐる爲め、何柱國軍は昨日午前三時四個列車を動かし、灤州にある直屬部隊を秦皇島に急增せしめた

マック首相 米大統領訪問

【ロンドン五日發國通】戰債問題、世界經濟會議其他重要問題に就きルーズヴエルト大統領と親しく協議すべき意嚮を以てマック英首相は愈々來る十五日令孃及大藏省の專門家同伴ニユーヨーク經由ワシントンに向け出發するに決した

馬大洋回收 四月末迄延期

【チチハル六日發國通】黒河方面の馬大洋回收は三月三十一日までを期限として極力回收に努力してゐるが何分交通不便の地域なる爲回收を知らざる良民もあるので今回新京中央銀行の認可を得て四月末までに延期された

我軍に治安 維持を要請
英國の焦慮

【天津六日發國通】開灤炭坑秦皇島出張所長チルトン氏は秦皇島附近の何柱國軍に撤退を慫慂し、次で同地の野砲守備隊長に對して支那軍隊撤退後日本軍移駐し、治安維持に當られたき旨非公式に申出た、右申出では、表面チルトン氏個人の意思表示とされて居るが、英國側が同方面に戰禍の擴大を怖れ利權擁護のため如何に焦慮し居るかを物語るものである

何應欽痛罵

【北平六日發國通】何應欽は蔣介石に宛て商震及び何柱國軍を痛罵し、中央軍の北上を要請すべく本日左の通り打電した

商震と何柱國の部下には全く戰意なく、無力にして抵抗の何たるかを知らず、日本軍が今少し積極的行動に出づれば河北省危しよつて至急灤州に中央軍を集結し日本軍に備ふると共に一面獅子身中の蟲に等しき商震何柱國兩軍を整理する必要を痛感す

蔣介石南昌着

蔣介石は五日午後九江着熊式輝の出迎へをうけ午後八時特別列車で南昌に到着した、尚情報によれば蔣は暫く南昌に滯在、更に北方に向ふと稱されてゐるが、共産軍の猖獗狀況から見て果して北上し得るかどうか頗る疑問とされてゐる

日支關税互惠協定
對策を擬議

【東京六日發國通】日支關税互惠協定は五月十五日を以て滿期となるが其後支那で如何なる態度で臨むかは對支貿易上重大なる關係ある爲昨日上海より歸朝した在華紡績の船津理事は外務省を訪問し支那最近の情勢を報告し善處を希望し、民間でも日華實業協會では七日丸の内事務所において幹事會を開き之が對策に就き協議することゝなつた

鐵路總局開業披露
奉天で盛宴

【奉天五日發國通】鐵路總局長宇佐美寛爾氏は總局開業披露の爲五日午後六時ヤマトホテルにおいて日滿官民二百餘名を招待し盛大なる披露宴を張つた、デザートコースに入るや宇佐美局長は起つて滿鐵會社においてはさきに滿洲國政府より國内鐵道、水運、港灣一切の經營を委任されましたが三月一日奉天に鐵路總局を開設し滿洲國國道の管理經營にあたることになり不肖私がその局に任ぜられましたが將來日滿官民各位の御援助御鞭撻を御願ひ致します と挨拶を述べ、日本側を代表して中野副領事滿洲國側を代表して趙民政廳長交々起つて國道は一國產業の開發、軍備、文化の向上のため重要缺くべからざるものであります宇佐美局長の主裁する鐵路總局の滿洲國内鐵道の管理經營に充分の努力を致され滿洲國の發展に資せられん事を祈る 旨謝辭を述べ、終つて別室に於て熱河ニユースを映寫し午後八時盛會裡に散會した

領事異動

【東京六日發國通】滿洲里領事山崎誠一郎氏は芝罘領事に芝罘副領事佐々木高義氏は新京在勤を命ぜられた

大阪商議會頭決定

【大阪六日發國通】稻畑勝太郎氏は大阪商工會議所會頭に片岡安、金森又一郎の兩氏は副會頭に當選した

新任平戸艦長着任

【大連六日發國通】今回平戸艦長に任命された前鳴門艦長大島乾四郎中佐は本日香港丸で來連直ちに旅順に向つた

米日爲替相場

【ニユーヨーク六日發國通】米日爲替、二十一弗五十仙、呆り

寄附

南滿電氣新妻眞二郎氏は大連本社轉勤に際し西廣場小學校父兄會へ金十圓を寄附した

一人一話
勤勞即愉樂
後藤文夫

物質主義と個人主義との文明が世界を風靡した結果として、現代には自分の仕事を單に生活の手段に過ぎずと考へ、自分の生活はその仕事以外にあると思ふ人が極めて多い。然し之れは大なる錯誤である。勤勞は自分の生きる手段であるばかりでなく、世間を生かすことでもある。勤勞によつて創造が産れ、創造によつて勤勞が樂しみとなるのであつて、國民が勤勞即愉樂の境地に到達することが出來れば、國力は充實し、國家は榮え得るのである。

天氣と氣象

六日の氣温最高十三度五最低四度七七日の天氣南の風變わ[illegible]

經濟欄
海外經濟

▲銀塊及爲替 倫敦銀塊 同遠限 紐育銀塊 孟買銀塊 米英爲替 米日爲替 米支爲替 スチール株 アナンゴダ株 [illegible]

▲綿 ●米物 現 三月限 五月限 七月限 十月限 十二月限 一月限 ●印 ノーロチ ペンゴール オームラ [illegible]

▲上海票金 本寄 步値 [illegible]

▲上海倫敦向 遠値 買値 [illegible]

▲上海紐育向 遠値 買値 [illegible]

▲上海日本向 第一回 第二回 第三回 [illegible]

▲大連鈔票 現物 近付 寄値 步 [illegible]

▲大連上海向 引高 止値 安値 出高 [illegible]

▲大連銀台 [illegible]

▲阪神日英爲替 賣値 買値 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 第二回 第三回 [illegible]

各地市場

▲大坂株式 株 新 紡新 新 [illegible]

▲同短期 [illegible]

▲大連株式 新 新 新 品 新 [illegible]

▲大阪三品 [illegible]

▲大阪棉花 [illegible]

▲大阪期米 [illegible]

▲仁川期米 [illegible]

▲橫濱生糸 [illegible]

▲神戸豆粕 [illegible]

▲大連特産 大豆 豆粕 高粱 [illegible]

▲哈爾賓特産 [illegible]

▲カルカツタ麻袋 [illegible]

▲大連麻袋 [illegible]

▲新京市況 大豆 高粱 小豆 [illegible]

こゝにも大新京への躍進振り
ドツト押寄せた素晴しい轉入兒童
室町校だけでも百十一名
學校では面喰ふ

今年もいよいよ新學年に入つたけふ此頃、市内室町、西廣場兩小學校では新入兒童を迎へて活氣溢れる裡にもまだ落着かぬ風情である。殊に本年は人口の激増から自然新入兒童も素晴らしく

＝增加＝し、これらがドツと押寄せたため兩校ともゴツタ返しの有様である。いま兩校について聞いて見ると

室町校では尋一が二百三十名、高一が二十名の新入學があり、それに途中轉入學が第一日四日九十四名、第二日（五日）十九名、第三日（六日）五名、計百十一名に上つたため前學年末現在の在籍兒童千百三十八名が一躍して千四百名を突破した、一方西廣場校はそれほどでもないが尋一新入學百七十四名、中途轉入學三十六名、同上他へ轉退學九名差引二百一名が増加して現在の在籍兒童が八百三十名

何れにしても新京では曾てない盛況で兒童の増加は＝當初＝から豫期されたことゝはいへ豫期以上の恐ろしい殺到振りには當局でも聊か面喰つた態である、兩校とも近ぐ増築工事に着手することになつてゐるが室町校の如きは新たに十四教室（職員室その他を除く）が増築されても此の調子では兒童は漸進的に増加して來る九月新築が完成される頃にはなほ二教室位が不足することになるであらうといはれてゐる、轉入學の増加はなほ今後引續くべく今のところ見當もつかぬ始末である

赤峰より凱旋

六日午前八時關東軍○○部隊員四十五名は赤峰より華々しく新京に凱旋した

父戀し！
母には死別れて遙々滿洲へ
僅かに十四歳の少年が
哀れな今石童丸

五日午後四時ごろ新京署奈良巡査が新京驛構内を巡回中、三等待合室にサージ洋服に小學生帽子を冠つた内地人少年が風呂敷包をかゝへベンチに身を寄せしくしく泣いてゐるを

＝發見＝事情を聞いて見ると、滋賀縣甲賀郡細川村大字高峯大井俊三氏の長男俊一（一四）で、母は今から八年前死亡し實父は養子として大井家をたてゝおつたが、母が死亡するや祖父と常に意見が合はず家を飛出し行方不明となり、一昨年頃、父が大連に來てゐることを知り、父戀しさの余り昨年五月十五日祖父に下の關迄見送られ、大連に到着したが頼るところもなく徘徊してゐるうち大連署に保護され、攝津町五十五番地

＝大慈＝園に入れられ飴行商をなし生活を續けてゐたが父を見出すことは出ず、つひや新京に來てゐるのではないかと思ひ五日午後三時三十五分新京に着いたが親戚知人はなく途方に暮れてゐることが判明した、少年は泣く泣く「私は父を見出す迄は内地には歸らない決心す、どうか私の父を捜して下さい」と語つてゐた同署では保護を加へる一方、各方面に手配をなし少年の父親を捜査することになつた

今夏滿洲で全滿教育大會
大連から歸つた上原室町校長談
日滿の連絡提携を圖る

さきに大連で開催された滿鐵臨時教育調査委員會並に南滿洲教育會に列席して此のほど歸京した上原室町小學校長は語る

調査委員會は去月二十四、五兩日、また南滿洲教育會は同三十日に開催されたが他に私用もあつたゝめ遲れて歸りました

＝調査＝委員會では尋常小學校卒業後、中等學校にゆかぬ者のために特別の教育機關の設置および教科教授時數の統制の二つが問題で結局本年中に研究のうへ決定することになつた、南滿洲教育會では新たに新京および奉天に支部を設置して日滿教育の連絡提携を圖ることゝなつたことゝ今夏滿洲で全國教育大會を開催することゝなつた位がニユースであらう、全國

＝教育＝大會の開催地はいづれとも決定せなかつた、なるべく新京に開催されたい希望ではあるが差しづめ旅館がないので今のところどうなるか知れない

模範警官に仕立てられて
滿洲國派遣留學生一行元氣に歸る

昨年四月全國各地警官中より選拔され日本内務省警察官講習所に派遣留學を命ぜられた第一回留學生張元恭氏外二十三名は相

＝前後＝して歸京、五日午前九時警務司に出頭、長尾警務司長の訓示を受け六日夫々任地に向つたが復歸の留學生諸氏は交々に次の如き感想を述べた

昨年自分達が母國滿洲を離れて日本へ赴いた時と今かうして一年の留學を終へて歸國して見た時とは滿洲國の警察制度が著しい進歩發達をなして居り、益々警察網の鞏固になつて居る事に驚いた、自分達は先進國日本の警察制度を勉强して來たからその良き所を採り

＝將來＝益々これが發達に努力する積りで居る

尚長尾警務司長はこれら留學生に對し、日本に於いて學んで來た長所を充分に活用し模範者たり又良き指導者として滿洲國の警察官の向上に努力され度いと希望、激勵する所あつた

未成年者の禁酒禁煙勵行
けふ全滿一齊に

滿鐵地方部、滿洲社會事業協會、教化團體聯盟が主催となりけふ七日全國一齊に未成年者の禁酒禁煙勵行を强調することになつたが新京でも地方事務所社會係その他が中心になつてポスターや宣傳ビラを配布して徹底をはかるはずで「國法を守れ！」をモツトーに「若者よ、惡習慣を排除せよ」、「青少年を誘惑するな」「のむのを見たら制止せよ」等々と大衆に呼びかけることになつてゐる

在滿支海軍部隊の
御慰問使東京發

〔東京五日發國通〕長き渉り[illegible]より第一艦隊及び第二遣外艦隊並に在滿海軍部隊視察並に慰問の爲め御差遣の御沙汰を拜した、侍從武官出光海軍少將は渡滿軍屬を随へ五日午後九時二十分東京驛發　聖旨並に皇后陛下の令旨及び御慰問品を捧じて出發する、同武官は神戸より長崎丸で八日上海に上陸、同方面をはじめ揚子江北支那方面の海軍部隊を視察、聖旨、令旨、御慰問品を傳達五月中旬歸京の筈である

交通整理から問題
憲兵隊の手で圓滿解決

〔安東發〕安東市警察署では憲兵隊と協力して全市に亘り交通整理を行ひ左側通行を勵行してゐるが、三十一日午後四時三十分頃、安東元寶山下ガード附近で通行整理中の巡警李成章（二三）が○○警備司令部某の自家用洋車が右側を通行し來るので、左側を通行する樣注意せる處、右洋車は○○處に馳せ付け斯くと告げたるものが○○處長以下二十數名は現場に赴き巡警に抗議し、果ては市警察署に押かけ口論となり、兩者の形勢容易ならざる有樣に、憲兵分隊より梅本班長は部下全員を引率し急行し鎭撫し事件は憲兵隊において兩者を呼び出し調査中の處此の程全く解決し、一時感情惡化し問題化せんとしたものが、憲兵隊の圓滿解決により、兩者の感情が融和し得たのは幸であつた。

中平大尉ら
白衣の勇士凱旋

〔大連六日發國通〕熱河聖戰における名譽の傷病兵中平砲兵大尉以下十名の白衣の勇士は本日午前十時半出帆の武昌丸で西岡軍醫以下に附添はれ、花の故國に向け痛々しい

今年初めて春雨しとしと
お花見も近いうち

ほかほかと例年より遙かに早く新京を訪れた春の陽氣は本朝遂に降雨を齎らし六日午前二時五十分から午前七時二十分迄降り續いた、此の初雨は一、二糎で一坪二升の割である、此の雨で待たれた杏の花の咲くのも遠くあるまいと宍戸新京觀測所長を訪へば左の如く語る

此の雨は大陸一帶を蔽つた低氣壓が原因だ今年の四月の半旬（五日まで）の平均温度は八度で平年四月半旬の三度一分、去年の四月半旬までの六度に比して遙かに暖かいから此の調子でゆけば今月の終りには花見が出來ると思ふ

自動車轢逃げ
いづれかに姿を消す
新京署で犯人捜査

六日午後四時ごろ新京東五條ガード下西朝道路で長春縣龍鳳山李德年（三八）同李鳳樓（三〇）が城内で買物をなして歸途、同地に差しかゝるや後方からトラツクが疾走し來たり李を轢き飛ばし頭部顏部その他に治療約一ケ月を要する重傷を負はせ附近の白川醫院に收容されたがトラツクはそのまゝ逃走姿を消した屆出により、新京署では直ちに犯人捜査に着手した

勞働團体の陸軍機獻納

〔東京六日發國通〕社系日本勞働組合同盟全日本一般産業勞働組合、全國製氷從業員組合、遞友同志會、日本主義團体の石川島自彊組合、勇信勞働組合、浦賀工愛會、日本鑄鋼自治組合等十三勞働團体は豫て國防獻金勞働協會を組織所屬組合から十五萬圓を醵金し陸海軍に各一臺を獻納することに決定二十九日の天長節當日午後荒木陸相參列の下に代々木練兵場に組合員一萬人が集合陸軍機獻納式を擧行の後宮城に向つて大行進を起し宮城前廣場で萬歲三唱散會することゝなつた

商賣氣を離れ
滿洲國の發展に努力
ゼネラルモータース支配人談

日本ゼネラルモータース會社は、豫てより滿洲國進出の意向を有して居たが、今回滿洲通のダブリユー、デーラー氏を滿洲國並に關東州地區支配人に任命し支店設置の準備に着手した、五日來京した同氏は各方面歴訪後語る

本社の事業は、滿洲國に對し現在も將來も深い關係に立つのだから商賣氣を離れて滿洲國發展のために努力し度い

尚同氏は當分奉天か新京に滯在の豫定

西本新法主
大谷光照伯か

〔京都六日發國通〕西本願寺は前法主大谷光瑞氏去つて以來長らく名目上の法主がなかつたが、今回光瑞氏の法孫か又は在學中の大谷光照伯が第二十三世の法統を繼ぐことになる模樣である

五族協和の
精神をそのまゝ
建國記念大運動會
今年は更に地域を擴大し
杏花咲く六月に

日滿親善はスポーツからといふ見地から日滿兩當局協力で計畫された建國記念大運動會は昨年第一回の好成績に鑑み引續き第二回運動會を六月杏花の候を卜して開催するに内定、近く準備委員會の組織を見ることになつた、第一回の時は滿鐵沿線及ハルビン附近等三十一ケ所であつたが、今年度は各地治安の安定とともに更に地域を擴大し討伐後のハイラル、熱河等をも含め約百ケ所に上る見込で日、滿、鮮、蒙、露の純眞な童心を通じ五族協和の精神を徹底させる筈である

家事講習所
けふから開く
新講師に彌富女史

滿鐵新京家事講習所では今七日から新學期に入るはずだが洋服科は新任の彌富美須子女史、和服は前講師逝去のため目下物色中で、生花科は前同樣引續き結宗マサ子女史が擔任、主婦としての知德修養並に趣味の培養に努めることになつた新任の彌富女史は東京[illegible]野歐米[illegible]縫學院出身、レディス洋裁學院の創設者であり、昨年十一月渡滿前まで同學院の教頭を勤めてゐたこの方面での權威者である、なほ講習は洋服科日火水木金、曜日生花科土曜日の毎日午前九時から午後三時までなは入講を受けらるゝ筈である

記者團の乘馬物語
まづく用心のこと

新京記者團の乘馬倶樂部は宮脇少佐の肝煎りで愈々六日午後三時半守備隊裏の廣場で騎乘式を行つた

□…會員何れも手口八丁の猛者揃ひであるが何しろ手と口だけでは自儘にならぬ乘馬のこととてこの日拔け驅けの功名に他の會員をアツトいはすべく、密かに警察廻りの驅を引出して人知れず練習してゐた會員もある中に、何事も人一倍負けることの嫌ひな知の森君なども其例に洩れず數日前警察の駿馬を引出して郊外遠乘りと出懸けたまでは無事だつたが、アツト云ふ間に駿馬は森君の意志を尊重せずに部落の中に飛び込んで馬上の森君を振り落して終つた

□…以來同君は熱腰の痛みをソツトさすつて人知れず治療してゐるとの噂が會員間に擴つてゐるが、愈々倶樂部員の騎乘練習が始つたら此種の悲喜劇がポツリポツリ出るのでないかと軍司令部の第四課邊りで茶話の種になつてゐる

ウレシカツタ ニユウエンシキ

キノフハ　シンクウヨウチエンノニユウエンシキガアリマシタ。オカアサンヤ　チエサンタチニツレラレテ　アツマツタ　コドモガ　ゼンブデ　百六十ニン、ゴゼン十ジハンカラ　シキガアリ、エンチヨウセンセイカラ　イロイロタメニナル　オハナシヲキイテ　オヒルマエニ　シキガスミマシタ

新京滿倶の陣容愈よ整ふ
あす總會を開いて正式に決定せん

いよいよ待望久しがりしオープンスポーツシーズンに入り各競技とも俄然活氣を帶びてゐるが新京滿倶では州外野球大會の覇權を目指し老巧を配するに新鋭を以て陣容を一新八日總會を開催、今後の試合プログラム作戰等を練り、州外野球大會に必勝を期し積年の雪辱に備へる筈である、一方本年新しく生れる滿洲國側の野球チームとも對戰すべく早くも新京野球ファンの胸を躍らし噂の種となつてゐる、新京滿倶のメンバーは次の通りである投手、高橋捕手中川　杉田、一壘川上二壘田中、三壘藤田遊擊小畑、外野中川、淺香三輪、淺野なほ外野方面に二三新進を加へ守備の守壁を明することゝなつた、

興安總署對監察院
對抗野球戰

新京のスポーツは去月二十三日民政部對興安總署の野球戰によつてトツプは切られたが其後湯淺嶽球團の入京と共にスポーツ熱はいよいよ昂つて來た、去月の野球戰に勝利を得た興安總署では來る九日（曜日）を期し更に監察院と對戰する由、兩軍のメンバーは左の通り

興　本澤　口永　口野　野本　城
松西　田公　坂宮
井島　光竹　田島
松小　宗菊　川岩　淺添　福
1 2 3 4 5 6 7 8 9
田　宮中　田所　橋岡　邊
民　西　京　渡
正　奥田　福稅　本平　山　田口

傷病兵來京

六日午後三時三十九分着列車にてハルビンより傷病兵三十名着京、十九名は豐嶺へ十一名は衛戍病院に收容された

吉凶禍福

▲新京常盤町二丁ノ[illegible]野田藏氏三女都[illegible]二十八日午前零時三十分出生
▲新京東五條通一七山本宗次氏長女美津子二日午後十時出生
▲新京大和通卅三松本智子四日午後四時死去
▲新京室町三丁目七ノ二菊地正浩二日午前六時死去
▲新京三笠町二丁目九高橋ミヨ氏、二日午前三時死去

野菜相場

新京市場小賣市場表　四月六日「菜果之部」

種別	種別
白菜	蓬蓮草大連物
サツマ芋	里芋
山芋	赤芋内地
ツクネ芋内地	牛蒡
蓮根	白大根「大連」
丸大根	赤大根
玉葱	人參
生姜	ウド
ワサビ	内地葱
玉菜	カブラ 大・小
馬鈴薯	水菜
ユリ子	同
セリ内地	ミツ葉 大・小
春菊大連	ワケギ内地
林檎	胡瓜内地
天津梨	内地梨
テーブル	ミカン
	西瓜

（値段欄）八　四　四　三　一〇　〇八　二〇　一五　一六　一四　〇六　〇八　〇九　一二　一〇　二〇　五六　〇〇　〇五　〇四　〇三　〇二　五〇　二五　一五　〇三　〇三　一〇　一三　一五　二二　四〇
（値段欄）一一　一〇　一〇　〇八　一五　〇五　〇四　〇八　〇六　〇六　三〇　三〇　三〇　三〇　二〇　一〇　〇八　一〇　〇八　二〇　五〇　〇五　一〇　五〇　二一　五八　一五　一二　一〇

婦人と家庭

春の先

お顔の御手入れ
御家庭で手輕に出來る
—美顔術のお話—

大分お暖くなりました。冬の長い滿洲にも、やうやく明るい春が訪れやうとして居ります。

×

冬のうちはさうな様も、お寒いのとそれにつれて御外出の機會もお少いのとで、兎角にお肌のお手入れ等も怠り勝ちでいらつしやいます事と存じますが之から春先は、わけても滿洲はみな様も御存知の様に、あのいやな風が吹きまして埃りもひどく、お顔やお手先など冬の間よりも荒れましたり、又脂肪性のお方ですと吹出もの等でお困り遊ばしますから、今からそれぞれとお肌に適當なお手當が大切で御座います。

×

先づ脂肪性の御方や、小皺しみ、ソバカス等でお困りの方には、東京ハリウッド美容室のメイ牛山女史創製のパリジャンパックの御使用をおすすめ致します。

×

之は少し御手数はかかりますが別にむつかしい事はありませんし、さきに申込まれた様なお方には大變効果があるものですから、夜お寝みになる前にでも實行遊して頂き度存じます。回數は適宜ですか普通五日おき位、少しひどい方でしたら二日おき位がよろしう御座いませう。

×

次に御家庭でなさるパックの方法を申上てみます。

一、最初石鹸でなり、コールドクリームでなりお顔の汚水を落します。そして眉と唇はコールドクリームを少しぬります。

二、次に卵(出來る丈新鮮なもの)を黄味と白味にわけ、先づ白味をお顔全体に(眉唇を除いて)まんべんなく[illegible]度も塗ります。

三、卵の黄味にパックの粉茶匙にかるく二杯ほど入れムラのない様によくかきまぜておきます。(ドロドロになる程度)

四、さきに塗りました白味の乾くのを待つて黄味を叮嚀に顔中にぬります。(この時も眉と唇はぬらないで)かうして一個の黄味を殆全部ぬつて了いますと頃は、顔面がこわばつて口もきけなくなります、このまま乾かすため二十分ほど放置いたします。

この時人と話をしたり、笑つたりしますと折角の皮膚の緊張をくづして効果がなくなりますから、御注意下さい。

五、二三十分のち、むしタオルで全部を拭きとりましても一度化粧水を脱脂綿につけて皮膚を叩く様にして拭き、開いた氣孔をとぢさせます。

六、そして粉白粉を叩く様にしてつけるので御座います。

パリジャンパックの後すぐ厚化粧する事は絶對にいけません。少くとも三時間位たつてからにして頂き度う御座います。

×

次に荒性のお方に向く美顔術として、何よりも容易な、しかも効果の多いコールドクリームの指頭マッサージに就いて申上ませう。指頭マッサージは、美容院などではいろいろ變つた方法も致しますが御家庭で御自身になさいます場合はごく簡單に、只指先の動し方さへお間違ひなさらねば結構で御座います。

一、先づお顔の汚水を落しますのはパックの時と同じで御座います。

二、次に二回程むしタオルを致しまして充分皮膚の氣孔を開かせましてから、お顔全体にコールドクリーム(なるべく良質のもの)を充分にぬります。

三、之からマッサージをするのですが、主に兩手の中指と薬指を使ひます、兩頬、小鼻のところ、目の下等は指さきをお顔の中心から外側へ外側へと、圓を描く様な氣持で動します、額と顎のところは兩方の指先を相互に横に動してマッサージ致します。

四、この様にして何回も繰返しお顔全体に充分クリームが擦り込めましたら、柔いガーゼの布ですつかりクリームを拭きとりましても一度むしタオルを致します。

五、パックの時と同様化粧水でお顔を叩く様にして拭きます。この美顔術の方はすぐにどんなお化粧をなさいましても、差支は御座いません。然しいづれにしましても夜お寝みになる前などで後にお化粧をなさらないならば尚一そう結構で御座います。

×

美顔術がおしやれな人のする事の様に云はれました時代はさうに過ぎ去りました。

お肌の御手入れは、お化粧よりもはるかに大切な事で御座います、少しのお時間と御手數でさうな様でも本當に生地からのお美しさを得られますのですから、何卒御實行遊して下さい、そして皆様お美しくなられまして樂しい春をお迎へ下さいませ。(ブリージャ美容室主新田八市さん談)

ホームラン王・助ポン助 (二十)

1 タマスケサン ゴキゲンヨウ オレタチモ マヂメニ ナリマスヨ。

2 アー セイセイシタ コレデ ボクモ ヒトアンシン サアデカケヨウ

3 アレ タスケテー ナンダナンダ ナニガタイヘンナンダ。

4 ウワツ コリヤ イケナイ ボクタチモ アブナイゾ ニゲロニゲロ。

滿洲で出來る松茸人工栽培法(下)

Y G K

下種して約三、四十日經過すれば菌絲が盛に分裂作用を起して四方八方極めて不規則な網状を呈し、分枝や叉點より極く小さい粟粒のようなものが發生します此れを走子と云ふ物で走ると發生し殆めるとすぐと茸が發生して、培養床の一床にイツパイ生へます其時の嬉しさは實に此れ以上無いことだと思ふ

一、茸を採取するには生へてから約五、六日位經過して、將に膜が破れんとする、其時其茸の傘をしづかに持つて其れを輕く捩ちるのです、其採取した跡に穴が出來るから新土を細く碎いて其穴を補充するのです

人工松茸栽培の要点

一、馬糞はなるたけ古いのは使用しないこと

一、夏は四、五日冬は十日毎に堆積した馬糞を三次耕返して繰返すこと

一、最後耕返してから三、四日目に六、七寸位の厚さに箱へ踏入れること

一、培養土を入床してから毎日中央に温床計を置いて床中温度を檢査すること

一、入床してから床中温度が六十七、八度の時に種菌を植付ること

一、種菌を挿入してから六七日後に細い土で覆土すること

一、覆土してからは絶對に掘返したり、又は表土をたたいたりしないこと

一、一度使用した馬糞は絶對に二度使用しないこと

一、發生が終了したら馬糞及び表土を全部運び出して奇麗に掃除し、又ほるまりんで消毒してから再び入床すること

「最新式十五坪栽培の一ケ年收支計算書」

三間　一尺五寸路　尺　三尺通路　二　一尺五寸路　入口

十五坪位は一人前の仕事として不足であるが副業としては丁度良い位いです、これで一ケ年收支を計算すると左の通りであります

右圖の如く三間と五間の六尺位い掘下げた八尺深さの地下室なら其れに棚を造つて六段するとし中央入口通路を除いても、千九百八十尺坪即ち五十五坪面積の栽培が出來ます、以上の設備をしたとして

一回栽培の支出の部

種菌代五五坪分(一坪分三圓)百六十五圓

馬糞代二十七馬車(一馬車一圓半)四十一圓二五錢、これを年二回栽培しても

一ケ年間總支出

馬糞及び種菌が四百十二圓五十錢

地代及雜費百五十圓、合計九百六十二圓五十錢也

一ケ年の收入之部

床面一坪より三貫匁採收するとして、三百三十貫(年二回分)之れを百匁七十錢賣るとして

一ケ年收入合計二千三百十圓也

差引純益金一千七百四十七圓五十錢也

但以上の計算表は內地及朝鮮を標準として作成したが、滿洲では馬糞が一馬車で一圓五十錢の費用もいらず、又生茸を百匁七十錢で賣る必要もありませんから實地栽培して見ると此以上の利益があると思ひます、先づ實地に少量栽培して經驗を得た上、大規模で栽培したら間違の無い事と存じます

海の外から

□流行の若帆スケーテイング 最近米國のスポーツ界には若帆スケーテイングが大流行、スケートをする際身体の兩側にフレーム附菱形の布を着けて風速を利用してあらん限りの速力を出さ謂ふ仕組み、布帆の面積は一般に三十二平方呎が好適されてゐる

□養鷄界の大福音 獨乙養鷄界では産卵率を高める爲に種々實驗の結果結局飼料中は沃度を混和する事が最上と判つた、即ち一日分の餌量に沃度加里(一名沃剝)二ミリグラムを含入するのだ

□室內裝飾に假顔面 英國の歌姫グラデイ、マーローは室內裝飾に有名人の假顔面を使用した所目下一般に大流行をしてマスク屋は大多忙だ

映画だより

長春座は七日から三日間封切後の九日の日曜日は晝夜松竹のトーキー映畫を上場する栗島すみ子主演、大日方傳、山內光、水久保澄子、岩田祐吉、圓藤達雄助演「梅娘」のオールサウンド版と林長二郎主演、阪東好太郎、尾上榮五郎共演のオールトーキー版仇討兄弟鑑とであるが、何れも松竹自慢の超豪華版、京阪神で白熱的喝采を受けた有名な映畫で入場料特等一圓大衆席八十錢、軍隊七十錢、軍人學生五十錢、小人二十錢とである

新刊紹介

△改造春秋三月號隨筆、論文、讀みもの、時評、滿洲欄、台灣欄、特輯錄帝國議會大總觀等々一部金三十錢、東京橋區銀座西一の三一金剛ビル改造春秋社

△新京(四月號)米艦隊示威か挑戰か皇國日本の國體と思想問題、本來使命に歸りて亞細亞を見よ、滿蒙賴むに足らず、滿洲の沒落と政權移動其他一部金五十錢新京日本橋通新京社

△護國の橋(滿洲事變寛城子南嶺戰)田所和夫氏著、事變前の概觀滿洲事變篇・銃後篇に分ち滿洲事變勃發と同時長春に起つた寛城子南嶺攻略の經過其他詳細に記述しあり四六版三百數十頁一部金一圓二十錢新京吉野町二丁目森書店發行

告示第四號

告示

新京居留民會規則第二條ノ規定ニ依リ左記ノ者ヲ同會常設員ニ選任ス

田中善平　安藤房吉　橋本與作　丸山久　赤鹿文雄　笹沼四郎　松田彌三郎　松永時三　吉井榮吉　古谷一　中村七之助　尾崎靜馬

右告示ス

昭和八年三月二十五日

在新京　總領事　栗原正

家庭医学

一ケ月一圓六十錢で胃腸病の温泉
—何年か苦しんだ胃腸病と慢性便秘も費用をかけずに—

温泉は太古の時代からあつたものに違ひありませんが、それを治療に應用したのは何時の頃からであるか、よくわかりません。

然し創を負うた狐とか鹿、鶴などが、偶然温泉に浴して、創が癒えたといふ様な口碑が、各地の温泉場に傳へられてゐるので、かなり古い時代から醫療として、自然に行はれてゐたものでありませう。

かやうに温泉は體驗を土台として、自然發生的に漠然と、いろんな病氣の治療に應用される樣になつたのですが

その効果が科學的

に究明された今日では、その病氣に應じて、それに適した温泉を選ぶことが、より効果的であります

たとへば、胃腸病には、アルカリとか重炭酸ソーダを含む、謂ゆる炭酸泉、硫酸鹽類—殊に硫酸ソーダ、硫酸カルシウムを含む謂ゆる苦味泉、食鹽を多量に含む食鹽泉等がよいとされて居ります。

さうして炭酸泉で有名なのは、下野の鹽原温泉、苦味泉では栃木鹽原、食鹽泉は伊豆の熱海等であります。

然しこれらの温泉で、湯治を續けるとなると、少く見ても一日最低二圓や三圓の宿泊料がかゝる上に、その間、業務とも遠ざからねばなりませんから、その入費が容易ではありません。

病は治つたもの丶

病つてゐる鹿を、澤山の獸が見舞に行つたが、その獸たちが、鹿の住ひの邊りの草をすつかり食べてしまつたので、鹿は食べるものがなくて餓死した、といふ皮肉な話があります。

たとへ病氣が癒つたとしても、此の鹿の樣に入費倒れになつては何にもなりません。

そこで、鹿の樣にならないで濟む手輕な温泉療法はないか、といふことになつて來ますが、一體温泉の胃腸病に及ぼす生理的作用は衰弱した胃腸の組織細胞を覺醒して體內の白血球を增し、それによつて胃腸內の毒素を去り、胃腸の働きをよくすることにあるので、歸するところは、かのヘーフエの酵素療法と殆ど同樣であります。

ヘーフエの酵素療法とは、酵素を十數種にわたつて、たくさんに含んでゐるヘーフエといふ藥用菌を醫療として服用する方法で、酵素には食物を血や肉にする消化作用、胃腸を丈夫にして、その還和を

原因的に正調する

強烈な賦活作用、白血球を增し、胃腸內の毒素をのぞく、治療能力增進作用等々、温泉の効果にまさるとも劣らぬ、有効な治療作用があります。

それゆゑヘーフエをのめば、第一に食物の消化がよくなり、食慾が增進して來ます。次ぎには衰弱してゐる胃腸の組織細胞が健全になるから

胃腸その物が丈夫

になり、毒素の排除作用、白血球の增殖作用等の効果と相まつて、ゲツプ、胸やけ、もたれ、下痢、便秘等々のいろんな胃腸病に伴なふ症狀も、原因的に輕快消散してしまふ譯です。

尤もヘーフエといつただけでは御存知ない方があるかも知れませんが、澤村博士の「錠劑わかもと」—あの藥がヘーフエからつくられた、專賣特許藥です。

從つて「錠劑わかもと」をのめば、温泉の効果に優るヘーフエの酵素療法が完全に行へる譯で、これをのんで、何年も苦しんだ胃腸病、殊に癒りにくい頑固な慢性便秘が恢復したといふ樣な例も、たくさんあります。

而もその費用は一ケ月用ゐても僅かに温泉の半日分、即ち一ケ月一圓六十錢で、温泉へ行つたも同じ効果が得られると好評を博して居ります。

急性胃腸
「カタルの手當」
—ヒマシ油を亂用すると盲腸炎になる

病名にはよくカタルといふのがあります。肺尖カタルとか氣管支カタル、鼻カタル、膀胱カタル、腸カタル、胃カタル等々いろいろのカタルがあります。

此のカタルといふ名稱はギリシヤ語から來たもので「あちこちへ流れる」といふ意味を、持つて居ります、つまり一部に

炎症

が起り、これが他の部分に流れるように擴ることであります。

そのカタルのうちで、これから盛んに起る急性胃腸カタルは、胃腸の粘膜面に、何かの原因で小さな炎症—言はゞ小火が起きるので、早く消し止めないと、火の粉はその粘膜の全體に飛び散り、遂には消し難い慢性の胃腸カタルになつてしまひます。

何事も初めのうちが大切で、大都聚を總嘗めにする大火災も、小火がもとですから、此の

病氣

も小火にあたる急性胃腸カタルのうちに、全治させなくてはなりません。

一體急性の胃腸カタルは、俗に夏期下痢といはれるほど、春先から夏にかけて頻發する、激しい下痢症の一つで、ひどい時は一日に二十回近くも、下痢することがあります。

その原因は申すまでもなく、暴飲、暴食即ち食傷が斷然多く、また腐敗物のために起る謂ゆるプトマイン中毒、その他お腹を冷したためとか、氣候不順からも起り、時には藥物の中毒、殊に下劑の濫用からも起ります。

素人がヒマシ油を濫用したために、急性胃腸カタルから

盲腸

炎を起したなどといふ例をよく耳にします。これはもと[illegible]かつた人が、ヒマシ油で無やみに粘膜を刺戟し、盲腸に急激な蠕動を與へたのがいけなかつたのだ、と考へられます。

殊に急性胃腸カタルの手當には下痢がつきもので、中毒すると先づ第一にヒマシ油をのませます。これは不良な—胃腸の內容物を排泄して、中毒を和げるために有効な手當ではありますが、素人が回激をかまはず、無暗に濫用すると、前にもいつたように思はぬ失敗を招き勝ちです。

それ故、心ある醫師は常にヒマシ油の濫用を避け、特に

抵抗

力の弱い小兒などの場合には、注意されるのです。

そこで近頃では胃腸カタルを原因的に治すために、歐米の治療界から我國にも行はれるやうになつた、ヘーフエといふ微生物の服用が賞用されて來ました。

ヘーフエには、前にも申しました樣な胃腸粘膜の部分的な炎症、つまり小火を消し止める作用があります。胃腸粘膜は、無數の細胞から出來て居り、胃腸カタルはその細胞の一つ一つが火の粉をうけて、燃え出した狀態ですから、細胞本來の消化分泌作用や、食物をもみ消し、送り出す蠕動作用などが働かなくなつてしまひます。

このひしがれた細胞の働きを立て直し、また新しい動力を與へるのが、ヘーフエの特權能力で、これを細胞の賦活作用と申します。

ヘーフエ菌(「錠劑わかもと」)には、此の偉力がある上に、各種のヴイタミンを始め、たくさんの榮養素が含まれてゐますから、衰弱の激しい胃腸カタルには、實に持つて來いの藥であります。

(記者付記)「錠劑わかもと」は二十五日分一圓六十錢、八十三日分四圓といふ奉仕的廉價で東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から頒布されて居ます。希望者は、右へ藥價だけ送付すれば送費は、會で負擔して急送されます。

子供の食當り

これからは食べ物に一層氣をつけなくてはなりませんが、殊に子供では命取りの恐ろしい疫痢がやはり食べ物の注意から起ります

澤村博士の『錠劑わかもと』は食べすぎや食當りには大人子供を問はず、大變効果がありますので、專門大家の間で推奬されてゐます。

お花見や、ピクニツク、旅行時など、特に小兒のある家庭では必携の常備藥であります。

私の慢性胃腸病と母の便秘が恢復
(寄稿)　三谷安江

(前略)私は十年來の胃腸病で食事をすると、きつとお腹が痛んで、一時間位は靜かに寢てゐないと仕事にかゝれません

それで日々の仕事も出來るだけ注意して、牛乳も七年間一日として飲まない日はなく、お蔭で牛乳の良し惡しは一口飲んでみれば分る位、すつかり[illegible]つてしまひました。(中略)

又、私の母はひどい便秘で、一週間も通じがないことがありまして、何時も頭が重い、と、いつてをりましたので、早速「錠劑わかもと」の三百錠入を二人で飲み始めました。(中略)

[illegible]歳か、母の方は非常によく効き目があつたと見えまして、三日目頃から毎日通じがつくやうになり大變工合がよい、と、喜んで居りました。

そのうちに愈々三百錠もおしまひになり、私は別に大した變化もないので、それつきりにする心算りでをりましたが、母の方が承知致しません。是非、後を買つて來い、と申しますので、今度は千錠[illegible]をりました。

そのうちに、私の方は、手足の冷えるのが溫かくなり、胃腸の痛みも追々薄らぐやうな氣持になつてまゐりました。これは、少し効いたかな、と張合ひがついて飲んで居りますと、何んだか、顔が腫れぼつたくなつたやうな氣持になり、家族の者が、少し腫れてはゐないかと、申しますので、どうも變だな、と思つて、町の錢湯に行つた序に體重を量つてみますと、ちよつと驚きました。今迄十二貫三百しかなかつたのが、十二貫九百になつて居ります。しばらくの間に六百目增えたわけです。

その後胃腸の工合もよろしく、もう食後に一時間も寢るといふや[illegible](をはり)

黒船往來

無斷轉載上映及上演

（作）寺島柾史 （畫）布施長春

第五十二回

濱千鳥（七）

鍛冶小屋の小窓から、身をもつてのがれた白軒は、輝く白砂のうへを、いつさんに驅けた。

空の明るさも、海の碧さも、天地のひろさも眼に映らず、緊迫を狙ひ込まれたやうな、心肉の挾められた氣持でいつさんにかけた。

背後からは、人々の叫喚が、波の音とゝもに白軒の耳を襲ふた。ふたりの旅侍と、うたひ女フラメとの爭鬪だ。

が、一町ほどもかけ拔け、白砂が盡きたころ、白軒はおもはず振かへつた。

——追ひすがつたな……。

眼を据へると、つひ手のとゞくところまで、若い方の旅侍が迫つてきてゐる。フラメも痩身年長の

ゐた。

——何よりも、先づ水だ。寧ろほがらかな氣持になつて水を求めた。

と、折よくおのれの身を託した岩かげで、こんこんとわき出てゐる泉を發見して、白軒はおもはず胸躍らした。

——おゝ、天の惠み……。

彼は、身を伏して足許の岩間から湧いてゐる淸れつな泉に口づけた。

口づけて、こゝろゆくばかり飲んで顔をあげたとき、つひ近くの岩道をたどるらしい足音を聞いて彼はおもはず首を縮めた。

——桑原々々……。

しかし、相變らず彼の眼は鋭つてゐた。足音の主は、そのまゝ退いて行つたからである。

旅侍も姿をみせない。定めし、小屋の中で慘ましい爭鬪をつゞけてゐることだらう。

——フラメよ、ありがたい、感謝するぞ……。

おのづと唇をもれる言葉だ。追手が一人だと判明すると、いくらか氣もゆるせたからだ。

しかし、のがれるところまで、脱れなければならない。白軒は一度振かへつたきり、ふたゝびは見返らず、白砂の盡きた岩道を、猿のやうに傳つた。

もう、こゝまで脱れると大丈夫だつた。ことに四邊には、虎杖が背丈ほども延び、蕗の葉は、姿を隱せるほど廣がつてゐる。そこにも、こゝにも異様な岩石が突立つてゐて、五尺の身一つ隱すぐらゐ容易な業だつた。

白軒の蒼白い顔に、いつのまにか微笑がのぼつた。生死の境をのがれた、ほつとした氣持が彼に激しい渇を興へた。

で、岩道を少し反れ、とある岩かげの虎杖の繁みの中へ入ると、最後にも一度振返つて、追手を物色した。が、若い旅侍の姿は、最早白軒の視野をはづれてしまつて

安易な[illegible]に、ふたゝび彼を襲ふた。求めてゐた泉に有ついてはそのうへ、さらに大膽な欲求が覺えた。先刻、鍛冶小屋でフラメにすゝめられて、おもはず過ごした唐人の酒の醉ひが、ふたゝびみがへつて來たのだ。

——夕景まで、この岩かげで一寢入りしてやらうか……。

それほどの、氣のゆるみだ。鍛冶小屋に入つてから、も一度、フラメを密かにおとづれて見よう。フラメの安否も氣づかはれるが、何よりも第一に高島沖の黒船に近づく方便を、彼の鍛冶小屋の親方にきつて求めたいといふ熾烈な慾望からである。そこで白軒は、この際に一寢入りして、充分に鋭力を恢復して置かうとするのだつた。

が、彼は蕗の葉を折しいて、敷つた岩のうへに粗衣の身を横たへたとき、同じ岩つゞきのどこからか、白軒の名を、あきらかに呼ぶ人聲を聞いて驚いてはね起きた。